

令和5年度 文化人材バンク
学校出前講座
～ おかやま子どもみらい塾 ～
報 告 書

令和6年3月

岡山県・公益社団法人岡山県文化連盟



岡山市立西大寺小学校 (造形表現)



倉敷市立児島小学校 (選択・水墨画)



総社市立清音小学校 (合奏)



笠岡市立大井小学校 (七宝)



岡山市立蛍明小学校 (現代詩)



笠岡市・矢掛町中学校組合立小北中学校 (着付け)



岡山市立山南学園 (映像)



井原市立出部小学校 (箏曲・尺八)



井原市立県主小学校 (話し方)



備前市立三石小学校 (和太鼓)



矢掛町立三谷小学校 (デザイン)



岡山市立幡多小学校 (選択・銭太鼓)



美作市立美作中学校 (吹奏楽)



岡山市立御野小学校 (選択・華道)



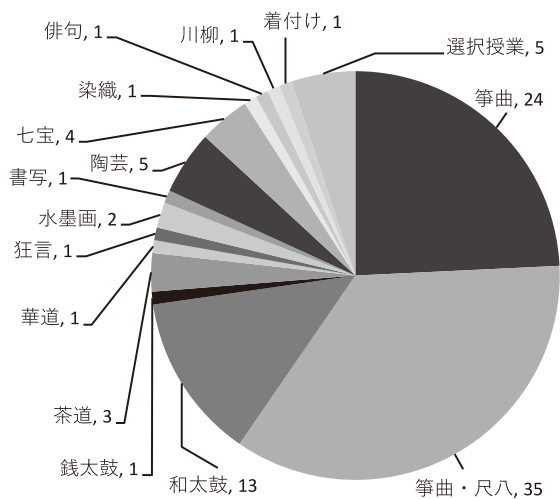
倉敷市立乙島小学校 (対話型鑑賞法)

「文化人材バンク学校出前講座～おかやま子どもみらい塾～」事業は、子どもたちが文化に親しみ、文化への関心をもつきっかけづくりとするための事業です。岡山県からの委託を受けた公益社団法人岡山県文化連盟が企画運営を行い、学校出前講座を実施することで、文化活動の裾野拡大と将来の地域文化の担い手育成に努めています。

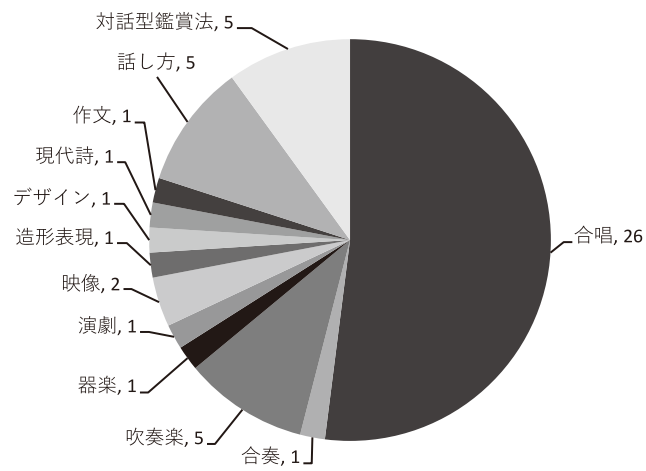
学校出前講座の伝統文化部門（箏曲、茶道、水墨画など）では、延べ16分野、延べ99校の利用が、一般芸術文化部門（合唱、話し方、対話型鑑賞法など）では、延べ12分野、延べ50校の利用がありました。

なお、事業実施にあたり、格別のご支援をいただきました公益財団法人福武教育文化振興財団様に深甚なる感謝の意を捧げます。

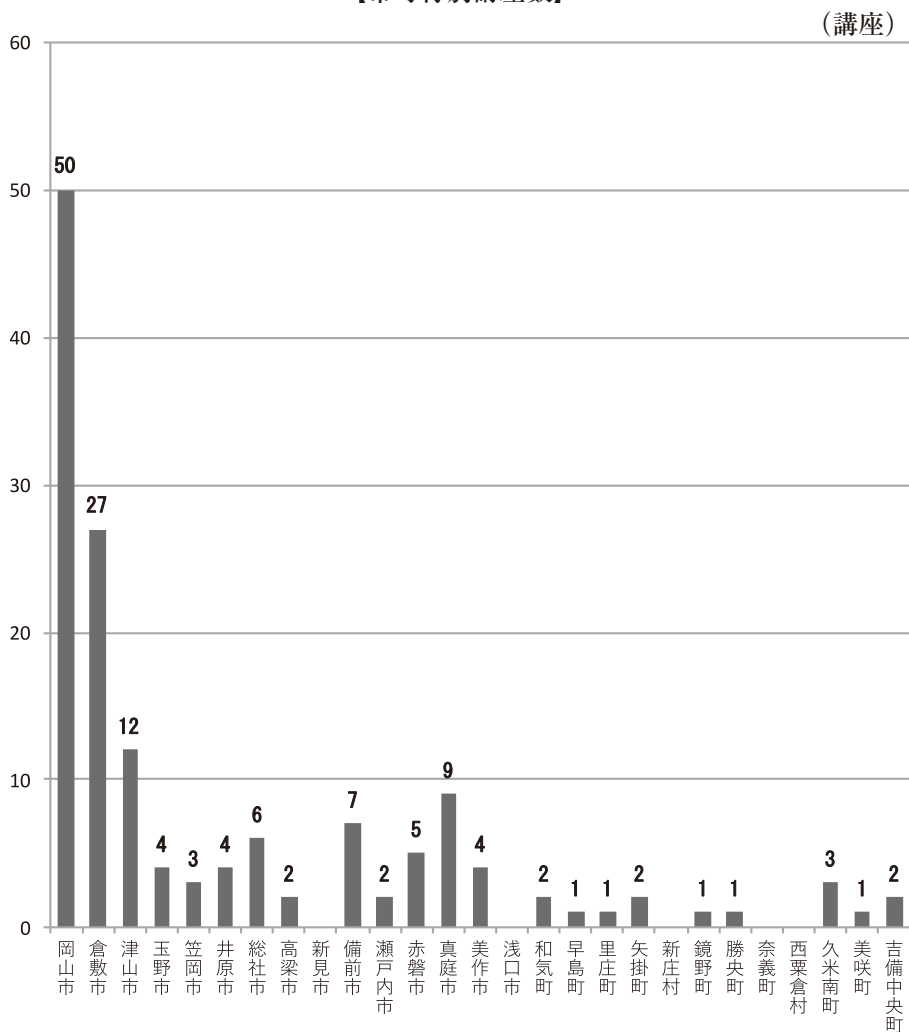
【伝統文化部門 全99講座】



【一般文化芸術部門 全50講座】



【市町村別講座数】



■伝統文化部門■

【箏曲】

(行政順・日程順)

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 建部中学校	目 標	地域住民でもある講師に日本の伝統的な楽器を指導していただくとともに、「たけべ学習発表会」で保護者や地域住民の前で生徒と共演する姿を披露することで、邦楽のすばらしさを伝える。
		講 師	三上 之華
		対象者	1～3年生96名
		日 時	①令和5年10月25日(水)13:45～15:15 ②令和5年10月26日(木)10:00～11:40
		内 容	総合的な学習の時間に1～3年生の縦割り学習を行っており、希望者に邦楽の指導を行い、その成果を建部町文化センターの大ホールで全校生徒と保護者・地域住民に披露した。
成 果	講師に共演していただくことで、レベルの高い演奏になった。また、総合的な学習の時間を使って指導していただき、箏曲をテーマにした調べ学習を発表することで、歴史的背景や箏曲のすばらしさが全生徒にも伝わった。建部町文化センター大ホールでの演奏はすばらしく、保護者・地域住民にも感動を与えることができた。		
2	岡山市立 岡山中央小学校	目 標	音楽の授業における邦楽体験
		講 師	安立 裕子、栗坂 祐子
		対象者	4年生118名
		日 時	令和5年12月6日(水)8:50～12:30
		内 容	・楽器説明 ・箏の演奏体験 ・講師による「さくら舞曲」の演奏を鑑賞
成 果	実際に演奏することで箏の音色や音色から広がるイメージを豊かにすることができ、興味をもって取り組むことができた。また、講師のすばらしい演奏を聞くことができたのもよい経験となった。		
3	岡山市立 旭操小学校	目 標	「日本の音楽につながろう」の題材の入り口として和楽器の体験を位置づけている。映像を使った鑑賞よりも親しむことができ、日本音楽への関心や意欲が高まると考える。
		講 師	木村 倫子
		対象者	4年生98名
		日 時	令和5年12月14日(木)8:50～11:40
		内 容	・鑑賞と箏についての説明を聞く ・3人1組になって「さくらさくら」の演奏をする ・クラス単位で同じ内容を3回実施
成 果	・分からない、できない子どもには丁寧に指導していただいた。 ・ほとんどの子どもが初めて演奏したり、生の演奏を聞けたりする機会だったので、とても意欲的に参加していた。 ・箏の生の音色に日本音楽の良さを感じ取ることができていた。		
4	岡山市立 財田小学校	目 標	音楽の授業において箏曲の体験をすることにより、箏曲や邦楽の楽しさに触れたり、理解を深めたりする。
		講 師	三上 澄之、三上 歌舞
		対象者	5年生71名
		日 時	令和5年12月14日(木)8:55～12:25
		内 容	・箏についての説明 ・講師による演奏 ・「さくらさくら」の演奏体験
成 果	事前に箏曲の鑑賞をしていたが、生での演奏に感動していた。講師から丁寧に教えていただき、アドバイスをもらい、ほとんどの児童が演奏できた。貴重な体験をして、箏に興味をもった児童もみられた。		
5	岡山市立 開成小学校	目 標	第4学年音楽科の単元「日本の音楽に親しもう」での学習で実際に箏に触れ、音色を味わうことで我が国に伝わる楽器への興味・関心を高める。
		講 師	児仁井 直美
		対象者	4年生21名
		日 時	令和6年1月15日(月)9:40～10:25
		内 容	①自己紹介 ②「春の海」鑑賞 ③「ディズニーメロディー」鑑賞 ④演奏体験「さくらさくら」
成 果	・箏を演奏するにあたっての作法、演奏の仕方を知ることができた。 ・少しずつ自分で演奏できるようになり、楽しく体験することができて興味や関心が高まった。		
6	岡山市立 妹尾小学校	目 標	箏の基本的な知識を、実際に箏に触れて音を出したり曲を弾いたりする体験を通して確かなものとし、和楽器の音や和の音づくりに親しむ。
		講 師	栗坂 祐子
		対象者	4年生69名
		日 時	①令和6年1月16日(火)9:40～11:30 ②令和6年1月17日(水)9:40～11:30
		内 容	・箏のしくみや弾き方についての説明(簡単なクイズを取り入れながら) ・講師による生演奏の鑑賞 ・「さくらさくら」の演奏体験
成 果	写真や動画でしか見たことのない箏に触れ、実際に音を出すことで、和楽器に対する興味が広がり、知識も深まった。2日に渡って実施したので、どの子も「さくらさくら」を最後まで弾くことができ、満足そうだった。昨年に比べて、自分の成長を感じている児童もいた。講師の生演奏から、箏の音色の魅力や和の音階や曲のよさを感じ取ることができた。子どもたちにとって、本当に貴重な体験となった。		

番号	学校名	講座詳細	
7	岡山市立 芳田小学校	目 標	めったに触れることのない箏の響きや旋律の美しさを味わいながら鑑賞したり、実際に演奏体験をしたりすることで、日本の音楽の良さに気付いたり、和楽器に興味や関心をもったりすることができる。
		講 師	三上 澄之、三上 歌舞
		対象者	4年生69名
		日 時	令和6年1月25日（木）9：40～11：35
		内 容	・箏の説明（各部の名称、演奏方法、爪のつけ方、座り方、楽譜の読み方） ・講師による演奏鑑賞（「さくらさくら」のアレンジ曲） ・「さくらさくら」の演奏体験 ・ミニ発表会（まとめとして「さくらさくら」を全員で演奏）
成 果	子どもたちは箏体験をととても楽しみにしていたので、生の演奏に触れ感動していた。集中して練習をして、ほぼ全員の児童が「さくらさくら」を演奏できるようになり、もっと弾いてみたいと興味をもつ子が多かった。		
8	岡山市立 東嶺小学校	目 標	箏の演奏を鑑賞したり、箏を演奏したりする活動を通して、豊かな情操を育むことができるようにする。
		講 師	荒川 智子
		対象者	5年生70名
		日 時	令和6年1月25日（木）9：40～11：35
		内 容	・箏生演奏の鑑賞 ・箏の演奏体験 ・質疑応答
成 果	生演奏を聞くことで、箏に対する興味や関心が高まった。「さくらさくら」を箏で演奏してみることで、音を出す難しさや演奏者の技術のすばらしさに気付くことができ、心に響く学習となった。		
9	岡山市立 福田小学校	目 標	箏の演奏を聞いたり、実際に体験したりすることで、日本の音楽や和楽器に興味をもったり、理解を深めたりすることができる。
		講 師	三上 澄之、三上 歌舞
		対象者	4年生126名
		日 時	令和6年2月14日（水）8：50～12：30
		内 容	箏の演奏を聞き、実際に体験を行った。講師に助言をもらいながら練習を行い、学級全体で演奏を行った。
成 果	実際に聞いたり、演奏体験したりすることで、箏の本物の音色を味わうことができた。また、日本の伝統的な音楽への興味や関心を高めることができた。		
10	倉敷市立 水島小学校	目 標	箏について知り、いろいろな部分の名前や演奏の仕方を知る。
		講 師	森 祥子
		対象者	4年生15名
		日 時	令和5年11月17日（金）8：40～10：20
		内 容	・講師の範奏 ・「さくらさくら」の練習 ・楽器と歌のコラボ演奏
成 果	箏の音色に興味を持ち、取り組むことで「さくらさくら」を演奏できるようになった。		
11	倉敷市立 富田小学校	目 標	日本の楽器に触れ、音色を味わうことにより、我が国に伝わる楽器へ興味・関心をもてるようにする。
		講 師	仲達 泉、木村 倫子
		対象者	4年生81名
		日 時	令和6年1月24日（水）9：35～12：25
		内 容	2人で1面の箏を使用し「さくらさくら」を演奏。先生方の演奏を聞く（箏、三味線）。
成 果	2人で協力し、集中して練習することができた。箏の音色の美しさを感じ、楽しんで演奏することができた。箏以外に三味線、三線にも興味をもつことができた。		
12	倉敷市立 上成小学校	目 標	音楽科の題材「日本の音楽でつながろう」において、CDやDVDで鑑賞するのではなく、生の箏の音色を味わってもらいたい。また、箏の演奏法を指導していただき、全員が箏の演奏を体験し「さくらさくら」を演奏できるようにしたい。
		講 師	仲達 泉
		対象者	4年生68名
		日 時	①令和6年1月30日（火）13：40～15：20 ②令和6年2月6日（火）13：40～15：20
		内 容	・講師による生演奏「花は咲く」を鑑賞 ・箏についての基礎知識と基本的な奏法の指導 ・「さくらさくら」の演奏指導（姿勢や弦を爪で弾く奏法、リズムや呼吸について） ・全員で「さくらさくら」の合奏
成 果	・生の演奏を目の前で聞くことで、箏の音色や奏法に興味や関心をもつことができ、演奏の素晴らしさに心を惹かれていた。 ・箏の奏法を知り、「さくらさくら」を演奏することができた。 ・自分の音だけでなく周りの音にも耳を傾け箏の音色や響きを味わうことができた。		
13	倉敷市立 第二福田小学校	目 標	箏に親しみ、演奏する。
		講 師	森 祥子
		対象者	4年生125名
		日 時	①令和6年2月7日（水）9：35～11：35 ②令和6年2月13日（火）9：35～11：35
		内 容	・「さくらさくら」を箏で演奏する ・講師による演奏「春の海」を鑑賞
成 果	日本の伝統的な楽器である箏の特徴や、歴史を理解するとともに、実際に箏曲を演奏することを通して、日本の伝統文化に親しみ、その良さを体感することができた。さらに一人ひとりが「さくらさくら」を演奏できるようになり、発表し合う活動を通して、達成感を味わうことができた。		

番号	学校名	講座詳細	
14	瀬戸内市立 国府小学校	目 標	日本の楽器の音楽を聞いたり演奏したりする学習を通じて、日本の楽器や音楽への興味や関心を高める。
		講 師	三上 澄之、三上 歌舞
		対象者	4年生47名
		日 時	令和6年1月12日（金）9：35～11：25
		内 容	・講義…箏の歴史・構造・演奏方法、楽譜の読み方 ・鑑賞…講師演奏「さくらさくら」 ・実技…13本の絃を鳴らす、「さくらさくら」の演奏と合奏
成 果	・箏の音色や響きを味わって鑑賞したり、扱い方や演奏の仕方に気を付けたりしながら取り組むことができた。 ・日本の音楽に、より興味や関心を高めることができた。		
15	赤磐市立 桜が丘小学校	目 標	箏の演奏を鑑賞したり、実際に演奏を体験したりすることにより、日本の伝統文化である和楽器に興味や関心をもつことができる。
		講 師	中川 博子
		対象者	4年生71名
		日 時	令和6年2月2日（金）13：55～15：35
		内 容	箏の説明後、二重奏を鑑賞。その後実際に箏を演奏する体験をした。座り方や爪のはめ方など基本的なことを教わった後、一本ずつ絃を弾いて音の確認をし、交代しながら練習し、最後に「さくらさくら」を演奏した。
成 果	箏の演奏を聞くことも演奏することも初めてだったので、授業前は不安な児童が多数いたが、最初の演奏で箏の世界に引き込まれた。二人に一面の箏を用意してくださったので、交代しながら十分に練習することができた。最後に「さくらさくら」を通して演奏し、達成感をもって終わることができた。感想に「箏を習いたい」「箏がほしい」と書いた児童が多数いた。		
16	真庭市立 米来小学校	目 標	総合的な学習の時間における伝統文化を体験する。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	5・6年生12名
		日 時	①令和5年10月17日（火）14：00～15：30 ②令和5年10月24日（火）14：00～15：00 ③令和5年10月31日（火）14：00～15：00
		内 容	・箏についての基本的な知識や奏法 ・回を重ねるごとに少しずつレベルの高い楽譜をいただき、集中して練習に取り組む
成 果	3回の講座の中で、箏の音の美しさやすばらしさを感じただけでなく、伝統的な文化の良さやそれを受け継ぐことの大切さに気付くことができた。		
17	真庭市立 中和小学校	目 標	5・6年生の音楽の授業において、箏の演奏を聞いたり、演奏を体験したりする活動を通して、日本の伝統的な音楽に親しみをもたせるとともに、豊かな情操を養う。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	5・6年生6名
		日 時	①令和5年10月18日（水）10：30～12：10 ②令和5年10月25日（水）10：30～12：10
		内 容	講義：箏について（楽器の特徴や歴史）、箏曲「さくらさくら」について 実技：箏曲「さくらさくら」の演奏
成 果	日本の伝統的な楽器である箏の特徴や、歴史を理解するとともに、実際に箏曲を演奏することを通して、日本の伝統文化に親しみ、その良さを体感することができた。さらに一人ひとりが「さくらさくら」を演奏できるようになり、発表し合う活動を通して、達成感を味わうことができた。		
18	真庭市立 樫邑小学校	目 標	和楽器に触れ、日本に古くから伝わる音楽に親しみとともに、発表会での演奏を目指し、それに向け努力する力を育む。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	3～6年生5名
		日 時	①令和5年10月30日（月）10：45～11：30 ②令和5年11月1日（水）10：45～11：30 ③令和5年11月6日（月）10：45～11：30 ④令和5年11月8日（水）10：45～11：30
		内 容	箏についての基礎知識を学んだ後、「さくらさくら」の演奏体験
成 果	伝統楽器に触れることで、その楽しさに気付くことができた。また、講師による一人ひとりの児童へのプラスの声掛けにより、児童は自己肯定感を高めたり、自信をもったりすることができた。		
19	真庭市立 勝山小学校	目 標	伝統文化に触れる学習として、音楽の授業を中心に組みたい。また、体験だけではなく創作活動の授業を通して、曲を仕上げることも行っていきたい。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	6年生28名
		日 時	①令和5年12月6日（水）10：30～12：10 ②令和5年12月7日（木）10：30～12：10
		内 容	・箏の伝統や文化に触れる ・「さくらさくら」の曲を指導していただく
成 果	・伝統文化の一端に触れ、より理解が深まった ・音楽や文化に対する関心が深まった		
20	真庭市立 落合小学校	目 標	日本の音楽の良さと和楽器の美しさを味わいながら、聞いたり、楽しんだり演奏したりすることができる。
		講 師	三上 之華
		対象者	3～5年生78名
		日 時	令和6年1月16日（火）9：35～12：20
		内 容	箏を弾くときの座り方や構え方など、基礎の部分からご指導いただいた。また、「さくらさくら」「かぞえうた」の練習を通して、箏の弾き方、音を合わせることの指導もいただいた。
成 果	箏を弾く体験を通して、和楽器の美しさを味わい、楽しんで演奏することができた。		

番号	学校名	講座詳細	
21	美作市立 英田小学校	目 標	音楽の時間における邦楽の単元において、実物を見たり、音を聞いたり、演奏者の話を聞いたり、担任と児童ではできない学習をし、理解や興味を深める。
		講 師	中川 博子
		対象者	3～6年生59名
		日 時	令和6年2月20日（火）9：35～11：25
		内 容	・箏の演奏を聞く ・楽器の部分の名前を知る ・爪をつける ・音を鳴らしてみよう ・「さくらさくら」を演奏する
		成 果	箏の演奏を聞かせていただいたり、お話をさせていただいたりすることは、子どもたちが本物と出会う貴重な機会となった。一音一音、音を出す練習をしたあと、「さくらさくら」に挑戦し、最後は一つの曲になったことで、子どもたちは「楽しかった」「箏で『さくらさくら』が弾けた」と嬉しそうだった。
22	和気町立 佐伯中学校	目 標	・日本の伝統的な文化に触れる ・日本の伝統的な楽器（箏）への興味・関心の向上
		講 師	三上 澄之
		対象者	1・2年生23名
		日 時	①令和5年11月14日（火）13：40～15：30 ②令和5年11月21日（火）13：40～15：30
		内 容	・部位の名称など箏に関する知識 ・箏曲「さくらさくら」他3曲の練習 ・「さくらさくら」の個人または、全体での演奏発表
		成 果	約100分の講座があつという間に過ぎたと感じるくらい、生徒が集中して練習に取り組んだ。一人一面の箏を準備していただいたこともあり、短時間で生徒が実感できる成果があり、とても良い講座となった。
23	早島町立 早島小学校	目 標	日本の楽器「箏」について知り、音色の良さや面白さを感じとり、演奏の仕方を知る。
		講 師	栗坂 祐子
		対象者	4年生139名
		日 時	令和6年2月13日（火）9：40～12：30、13：40～14：25
		内 容	・箏のしくみ ・「さくらさくら」の演奏体験 ・講師による生演奏の鑑賞
		成 果	箏に興味をもつ児童が増えた。これまでに学んだ西洋の楽器と比較して、音色や特徴を感じとることができた。
24	鏡野町立 奥津小学校	目 標	日本の伝統的な音楽や楽器に触れ、音色や音楽に親しみ、豊かな心を育てる。
		講 師	定森 智子、中尾 美鈴
		対象者	4～6年生31名
		日 時	令和5年11月15日（水）10：40～12：20
		内 容	・演奏を聞く ・楽器の説明 ・演奏体験
		成 果	CDや動画などではなく、生の箏の演奏を聞いたり、自分自身が体験したりすることで、日本の伝統的な楽器に親しみ豊かな心を育むことができた。

【箏曲・尺八】

1	岡山市立 岡山後楽館中学校	目 標	日本の伝統音楽の良さを味わい、楽しむ。楽器に触れ、音を出すことで和楽器を身近に感じる。
		講 師	[箏曲] 小山 東洋子 [尺八] 黒住 泰山
		対象者	1・2年生152名
		日 時	令和5年11月6日（月）9：50～12：40、13：25～14：15
		内 容	・講師による演奏の鑑賞（「春の海」「さくらさくら」） ・楽器説明 ・ワークショップ（箏曲「さくらさくら」を講師と合奏体験）
		成 果	生徒は邦楽に関心をもち、授業に臨むことができた。また、箏に触れ、音を出すことの楽しさを体験できた。
2	岡山市立 箕島小学校	目 標	箏・尺八の演奏を聞いたり、箏を演奏したりすることで、日本の伝統音楽に親しむ。
		講 師	[箏曲] 荒川 智子 [尺八] 佐藤 秧山
		対象者	6年生58名
		日 時	令和5年11月30日（木）13：30～15：30
		内 容	・箏、尺八の演奏を鑑賞する ・箏の演奏を体験する
		成 果	日本の伝統音楽に触れ、体験することで、その良さを実感することができた。また、伝統音楽だけでなく、日本の伝統文化を守り続けようといった気持ちをもつ児童が多かった。
3	岡山市立 鯉山小学校	目 標	音楽の授業と関連させて、子どもたちに本物の文化を体験させたい。
		講 師	[箏曲] 中川 博子 [尺八] 佐藤 秧山
		対象者	4・5年生62名
		日 時	令和6年1月12日（金）9：00～12：00
		内 容	①講師による演奏、楽器の説明 ②箏演奏体験 ③尺八演奏体験
		成 果	体験を通して「楽しかった」「もっとやってみたい」と子どもたちが発言していた。本物のすばらしさを感じたようだ。

番号	学校名	講座詳細	
4	岡山市立 雄神小学校	目 標	古くから伝わる日本の伝統楽器の音色や曲を聞いたり、演奏したりすることで、日本の音楽への興味や関心を高める。
		講 師	[箏曲] 兎仁井 直美 [尺八] 黒住 素山
		対象者	4年生10名
		日 時	令和6年1月12日(金) 10:30～12:00
		内 容	・箏、尺八の曲を鑑賞 ・箏の演奏体験と尺八についての話を聞く ・全員で「さくらさくら」の合奏
		成 果	事前に音楽の授業で箏や尺八について知っていたが、生の演奏を聞いたり、実際に体験したりすることで、音の出し方、音色により関心をもっていた。日本の音楽、楽器への関心を高めることができた。
5	岡山市立 平島小学校	目 標	日本の音楽・楽器を通して日本の文化に親しむ。
		講 師	[箏曲] 中川 博子 [尺八] 佐藤 秧山
		対象者	4年生51名
		日 時	令和6年1月16日(火) 9:35～11:30
		内 容	①講師紹介 ②鑑賞「春の海」 ③箏と尺八の演奏体験 ④質問
		成 果	長年にわたり、箏・尺八を愛好し、技を磨き続けている人の演奏や話を聞くことで、日本の楽器や文化に親しむことができた。自分たちで音を出せた喜びを感じることができた。
6	岡山市立 宇野小学校	目 標	箏や尺八の楽器演奏を目の前で聞くことにより、音色や旋律の美しさを味わい、日本の音楽に親しむことができるようにする。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定、菅田 章喜 [尺八] 藤原 匠山、佐藤 秧山、
		対象者	5年生142名
		日 時	令和6年1月17日(水) 8:55～12:35
		内 容	・箏、尺八の楽器の説明 ・楽器体験(尺八は持たせていただくのみ) ・鑑賞「春の海」など
		成 果	生演奏を間近で聞くことで、音色の美しさやひびき、演奏者の息づかいを感じることができた。初めて楽器に触れる児童もあり、講師の丁寧な指導のおかげで、興味を持ったり達成感、充実感をもつことができた。
7	岡山市立 加茂小学校	目 標	箏や尺八の生演奏を聞いたり、楽器に触れたりすることで、日本の伝統音楽を身近に感じ、興味や関心をもたせる。
		講 師	[箏曲] 菅田 章喜 [尺八] 藤原 匠山
		対象者	5年生38名
		日 時	令和6年1月19日(金) 10:40～12:10
		内 容	・講師による「春の海」演奏を鑑賞 ・箏・尺八の演奏体験
		成 果	授業で鑑賞した「春の海」の生演奏を聞くことができ、和楽器の音色の美しさを味わうことができた。また、演奏体験をし、音を出せたときの楽しさや喜びを感じたり、音を出すことの大変さを実感することができた。
8	岡山市立 陵南小学校	目 標	和楽器を通じて、我が国の音楽・文化への興味や関心を深めるとともに、表現の豊かさを味わう。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子、中川 博子 [尺八] 塩治 尺山、黒住 素山(26日のみ)
		対象者	5年生138名
		日 時	①令和6年1月25日(木) 8:50～12:30 ②令和6年1月26日(金) 8:50～12:30
		内 容	・箏、尺八による「春の海」の演奏鑑賞 ・箏、尺八の演奏体験
		成 果	実際に本物の楽器や生の音に触れ、好奇心をもって主体的に話を聞いたり、感想を述べたりする姿が見られた。また、演奏体験を通して、その難しさや日本の伝統文化のよさを味わった。
9	岡山市立 操南小学校	目 標	5年生音楽の「日本の音楽に親しもう」の題材の中で、箏と尺八の体験学習を行うことで、日本の文化の良さに気付き、邦楽の学習を深めていきたい。
		講 師	[箏曲] 木村 倫子 [尺八] 松本 惇山
		対象者	5年生106名
		日 時	令和6年1月26日(金) 9:35～12:20
		内 容	・「春の海」の鑑賞(15分) ・2グループに分かれて、尺八・箏の演奏体験(15分)
		成 果	・演奏を生で聞いたり、実際に演奏したりすることで、箏と尺八により興味をもつことができた ・初めて楽器に触れる児童がほとんどだったので、和楽器を身近に感じ、親しみをもつことができた
10	岡山市立 大野小学校	目 標	日本の楽器を演奏し、音色を楽しむ。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子 [尺八] 黒住 素山、井藤 侃山
		対象者	4年生56名
		日 時	令和6年2月15日(木) 9:40～11:35
		内 容	箏・尺八の体験授業
		成 果	尺八はなかなか音が出ず大変だったが、音が出たときの喜びはとても大きかった。また、自分の出す音とCDとの違いを感じたようだった。

番号	学校名	講座詳細	
11	倉敷市立 船穂小学校	目 標	4年生の教科書にも取り上げられている箏や尺八の演奏を体験したり、聞いたりすることで、日本の伝統楽器に親しみ、日本の音楽を愛する心情を育てる。
		講 師	[箏曲] 仲達 泉 [尺八] 井藤 侃山
		対象者	4年生77名
		日 時	令和5年6月20日(火) 8:40～12:25
		内 容	・それぞれの楽器の説明と奏法の説明を聞き、講師による「春の海」演奏を鑑賞 ・箏での「さくらさくら」演奏体験
		成 果	・箏や尺八の音色を生で聞かせていただき、日本の伝統楽器に親しむことができた ・箏で「さくらさくら」の演奏を体験し、絃の硬さやふるえを指で感じる事ができた ・事前に覚えていたので、講師の伴奏と合わせて演奏でき達成感を感じた児童が多かった
12	倉敷市立 第五福田小学校	目 標	日本の楽器の音色の美しさに触れるとともに、体験することによって、親しみをもつことができるようにする。
		講 師	[箏曲] 森 祥子 [尺八] 大森 勢山
		対象者	5年生28名
		日 時	令和5年11月10日(金) 10:50～12:20
		内 容	講師による演奏「さくらさくら」「春の海」を鑑賞し、楽器の歴史や材質などを学び、演奏体験。最後に質疑応答と感想発表。
		成 果	生演奏のすばらしさに触れることができた。また、演奏体験をすることを通して、楽器への興味をもったり、「できた」を感じる事ができた。
13	倉敷市立 中島小学校	目 標	和楽器の演奏を聞いたり、体験したりすることで、日本の音楽に親しむ。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子 [尺八] 佐藤 秧山
		対象者	5年生152名
		日 時	令和5年12月15日(金) 9:35～12:25、14:00～15:40
		内 容	・「春の海」鑑賞 ・箏曲の演奏体験 ・尺八の体験
		成 果	箏・尺八の生演奏を聞き、実際に楽器の音を出してみる体験を通して、和楽器を身近に感じ、興味を深めることができた。
14	倉敷市立 菅生小学校	目 標	和楽器の演奏を見たり聞いたり、実際に体験したりすることで、日本の音楽に親しむことができる。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子 [尺八] 丸野 怜山
		対象者	6年生66名
		日 時	令和6年1月11日(木) 9:35～11:30
		内 容	・鑑賞「春の海」 ・楽器、楽曲の解説 ・箏と尺八の演奏体験
		成 果	箏や尺八の生演奏を聞いて、音色の美しさを味わうことができ、音を出す楽しさや難しさを感じることで日本の音楽に親しむことができた。貴重な体験ができて良かった、もっと演奏してみたい、音が出せる先生はすごいという児童の声があった。
15	倉敷市 西阿知小学校	目 標	箏・尺八の演奏を生で聞いたり、楽器に触れたりすることで、日本の音楽に興味や関心をもつ。
		講 師	[箏曲] 三上 澄之 [尺八] 大森 勢山
		対象者	6年生196名
		日 時	①令和6年1月11日(木) 9:35～12:25 ②令和6年1月16日(火) 9:35～12:25
		内 容	・箏と尺八による「春の海」の鑑賞 ・楽器についての話 ・箏で「さくらさくら」の演奏体験 ・尺八の演奏体験(音の出し方、吹く体験)
		成 果	・間近で箏と尺八の演奏を鑑賞し、日本の音楽に対する興味・関心が高まった ・箏と尺八の演奏体験をすることで、楽器のおもしろさや難しさを味わうことができた
16	倉敷市立 赤崎小学校	目 標	音楽の授業における邦楽体験(箏・尺八)
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子 [尺八] 大森 勢山
		対象者	5年生65名
		日 時	令和6年1月12日(金) 13:50～15:30
		内 容	①演奏鑑賞、楽器の説明 ②実技体験(箏、尺八を半数で交互に) ③質問、感想発表
		成 果	「春の海」の生演奏で音色の美しさを味わうことができ、箏や尺八の演奏を体験することができた。特に尺八は、音を出すことの難しさを実感することができ、和楽器への興味や関心が深まった。
17	倉敷市立 大高小学校	目 標	和楽器の演奏を聞いたり、体験したりすることで、日本の音楽に親しむ。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子、湊 紀子 [尺八] 丸野 怜山
		対象者	6年生166名
		日 時	令和6年1月15日(月) 9:35～12:25、14:00～15:40
		内 容	・「春の海」鑑賞 ・箏と尺八についての楽器解説 ・箏と尺八の体験
		成 果	・演奏を聞いたり体験したりすることで、日本の音楽や和楽器に興味をもち、もっと調べてみたいという意欲がわいた ・演奏の仕方やいろいろな奏法を知ることができた

番号	学校名	講座詳細	
18	倉敷市立 葦高小学校	目 標	参加した児童が日本の音楽に親しみをもち、箏や尺八の演奏に触れることができる。
		講 師	[箏曲] 森 祥子 [尺八] 大森 勢山
		対象者	4年生137名
		日 時	令和6年2月5日(月) 8:45～12:30
		内 容	・箏と尺八による合奏「春の海」の鑑賞 ・箏、尺八の演奏体験
成 果	箏、尺八の音色を味わって聞き、奏法を学んで演奏する体験をすることができた。		
19	倉敷市立 玉島小学校	目 標	本物に触れる体験を通して、和楽器の音色の良さを感じ取ることができる。また、箏の爪のつけ方や箏に対しての身体の構え方、手の位置、音を鳴らすときのコツなど、基本的な演奏の仕方を知り、箏に親しむことができる。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子 [尺八] 丸野 怜山
		対象者	4年生75名
		日 時	令和6年2月6日(火) 8:45～12:05
		内 容	講師による「春の海」の演奏。箏と尺八のグループに分かれて、それぞれの楽器の説明と基本的な奏法の説明。箏は「さくらさくら」を一人一面で15分程の間に一通り演奏した。尺八は名前の由来や歴史、指使いの説明後、練習用の尺八を一人一本で息を入れて音を出す練習をした。
成 果	「春の海」の演奏をじっと見て、一生懸命鑑賞する様子が見られた。実際に楽器に触れることで、箏ではいい音を出すためには強く弾くことや、絃の数字を手がかりに弾くこと、柱を動かすことでいろいろな音階を出すことができることなどを感じ取っていた。尺八では音を出すのはとても難しいこと、首を動かして音の出し方を変えること、気温によってピッチが変わることなど、リコーダーと同じ縦吹きでも全く違うことを感じ取っていた。実際に触れることでまた機会があればやってみたいという感想も見られ、親しむことができていた。		
20	津山市立 加茂小学校	目 標	和楽器に触れることで理解を深め、日本の音楽の良さを感じとる。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定 [尺八] 加東 吹山
		対象者	4年生17名、5年生23名
		日 時	令和5年7月5日(水) 10:45～12:25
		内 容	・「春の海」の鑑賞 ・箏、尺八についての話 ・楽器の演奏体験
成 果	生演奏の音や動きに感銘を受け、真剣に見ていた。また、演奏体験をする事で興味や関心がふくらみ、心に残る体験となった。		
21	津山市立 向陽小学校	目 標	5年生の音楽で日本の音楽に親しもうという単元があるが、本物を見て生演奏を聞き実際に体験することで理解を深めたい。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定 [尺八] 加東 吹山
		対象者	5年生30名
		日 時	令和5年12月6日(水) 9:40～12:25
		内 容	「春の海」鑑賞(講師二人による生演奏) ・箏曲…箏の歴史、種類、部位の名称など説明「Believe」の演奏 ・尺八…尺八の歴史、種類、音律についての講義 ・2～3時間目は15名ずつに分かれて尺八の音出し体験、箏曲「さくらさくら」演奏体験
成 果	今年度は1クラスだったが3時間(45×3コマ)申請して派遣決定がおりたのでじっくり体験ができた。箏曲「さくらさくら」においては全員が最後まで1曲弾けるようになりとてもうれしかったようだ。尺八も半分くらいの人が音が出た。		
22	津山市立 鶴山小学校	目 標	箏・尺八の演奏を聞いたり、体験したりすることで、日本の音楽に親しみ、和楽器の良さを知る。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定 [尺八] 加東 吹山
		対象者	5・6年生132名
		日 時	令和5年12月8日(金) 8:40～12:20
		内 容	「春の海」の鑑賞、および箏・尺八の説明と演奏体験
成 果	箏と尺八の生演奏を目の前で聞くことで、音楽の迫力や音色の美しさを味わうことができた。また、楽器に触れることで、音を出すことの難しさや音を出せたときの喜びを感じることができ、伝統音楽への興味や関心が深まった。		
23	津山市立 高野小学校	目 標	5年生の音楽で「日本の音楽に親しもう」という単元がある。本物の楽器を見て生演奏を聞き、実際に体験することで理解を深めたい。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定 [尺八] 加東 吹山
		対象者	5年生67名
		日 時	令和5年12月12日(火) 8:40～12:20
		内 容	講師紹介後「春の海」の生演奏を鑑賞し、尺八の種類や歴史、箏の歴史や部位の名称の話聞いた後に2グループに分かれて「さくらさくら」の箏演奏体験と、尺八は音出し体験をおこなった。
成 果	1クラス(45分×2時間)でお願いしたので箏曲の「さくらさくら」の体験もほとんどの子どもたちが弾けていた。尺八も音が出た子が多くいた。尺八・箏を身近に体験したことにより和楽器のすばらしさ実感することができた。		
24	津山市立 院庄小学校	目 標	箏と尺八の演奏を聞いたり、体験したりすることで、それらの楽器に親しみ、日本の音楽の特徴を感じることができるようになる。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定 [尺八] 加東 吹山
		対象者	5年生26名
		日 時	令和6年1月18日(木) 13:45～14:30
		内 容	講師による演奏鑑賞、楽器説明、体験
成 果	学習発表会で体験した和太鼓演奏に続いて、CDでは伝わらない和楽器の音色の深さをさらに実感できた。		

番号	学校名	講座詳細	
25	玉野市立 玉原小学校	目 標	日常には触れることのできない日本の伝統的な楽器を通じて、未来に向けて視野を広げたり、美しい音色が自分や周りの人を笑顔にできるという体験をさせる。
		講 師	[箏曲] 三上 美涼 [尺八] 藤原 匠山
		対象者	5・6年生37名
		日 時	令和5年7月5日(水) 10:50～12:25
		内 容	・邦楽演奏(「春の海」)の鑑賞 ・楽器の説明、箏「さくらさくら」の楽譜を用意していただき、爪での弾き方指導 ・尺八の説明と音の出し方の練習
成 果	触れたことのない箏や尺八の音を出すことができたとき、音を出した本人だけでなく、周りの児童たちもうれしそうに拍手をしていた。また、教え合うなどコミュニケーションを図る姿が見られた。		
26	井原市立 出部小学校	目 標	和楽器の演奏を聞いて体験することで、日本の音楽に親しみ、伝統的な文化の良さを知ることができる。
		講 師	[箏曲] 菊津優 珠美 [尺八] 國田 松山
		対象者	4・5年生114名
		日 時	①令和6年2月8日(木) 9:40～11:30 ②令和6年2月13日(火) 9:40～11:30
		内 容	・箏と尺八による「さくらさくら」「春の海」の演奏を鑑賞 ・楽器体験は箏と尺八の2つのグループに分かれて約20分活動。箏の体験では、1人または2人で1面の箏を使用し、「さくらさくら」の演奏に挑戦した。爪のはめ方や鳴らし方を一人ひとり丁寧に教えていただいた。尺八の体験では、1人1本の尺八を用意していただき全員が十分に触れることができた。主に音の出し方のコツを教えていただいた
成 果	どの児童も興味関心をもって取り組むことができた。箏の体験では、楽しんで練習する児童が多く「さくらさくら」のはじめのフレーズはほとんどの児童が演奏することができ、達成感を十分に味わうことができた。尺八の体験では、音を出す難しさを身をもって感じながらも、前向きに練習に取り組んでいた。生の演奏を聞いたり体験をしたりするなどの活動を通して、日本の楽器の良さをしっかりと感じ取ることができた。		
27	総社市立 総社北小学校	目 標	和楽器の響きと旋律の美しさを味わう。
		講 師	[箏曲] 内藤 育子 [尺八] 荒川 菊山
		対象者	5年生33名
		日 時	令和5年12月8日(金) 13:25～15:00
		内 容	・箏曲、尺八の演奏鑑賞 ・箏、尺八の演奏体験
成 果	箏と尺八の生演奏を聞くことで、和楽器の音色の美しさや響きの良さを感ずることができた。また、実際に演奏体験をすることで和楽器に親しみをもつことができた。		
28	総社市立 池田小学校	目 標	本校にある和楽器を活用する機会がもておらず、本物の音色を聞いたり、触れたりする機会がほとんどないため、子どもたちに是非、実際の演奏の様子や音色を味わわせたい。
		講 師	[箏曲] 内藤 育子 [尺八] 荒川 菊山
		対象者	5・6年生9名
		日 時	令和6年1月26日(金) 13:45～15:20
		内 容	・講師による模範演奏の鑑賞 ・2グループに分かれて、箏と尺八の演奏体験
成 果	・たくさんのお客さんを用意していただいたので、子どもたち一人ひとりが楽器に触れ、演奏を楽しむことができた ・音色や演奏をじかに味わうことで、和楽器に親しみをもつことができた		
29	総社市立 総社東小学校	目 標	箏と尺八の生演奏を聞いたり、演奏体験をしたりすることを通して、日本の伝統的な楽器の良さに触れ、豊かな情操を養う。
		講 師	[箏曲] 内藤 育子 [尺八] 荒川 菊山
		対象者	5年生61名
		日 時	令和6年1月30日(火) 13:40～15:15
		内 容	・箏と尺八の演奏鑑賞「春の海」 ・部屋を分けて、箏と尺八を15分ずつ体験 ・感想発表
成 果	・箏と尺八の生の音色と、それを演奏する姿を間近で触れることができた ・講師から優しく声をかけていただきながら、それぞれの楽器に直接触れ、特性や奏法を学ぶことができた ・初めて音を出すことができたり、簡単な曲を演奏できたりすることで、音楽の楽しさを味わうことができた		
30	備前市立 東鶴山小学校	目 標	音楽の授業における邦楽体験を行う。
		講 師	[箏曲] 中川 博子 [尺八] 佐藤 秩山
		対象者	3～6年生25名
		日 時	①令和6年1月23日(火) 10:35～12:10 ②令和6年1月30日(火) 10:35～12:10
		内 容	・箏・尺八の鑑賞 ・箏・尺八の演奏体験
成 果	・鑑賞や体験をすることで、邦楽に関心をもち、親しむことができた ・音色がとてもしきれいだっ、また演奏をしてみたいという感想をもった児童も多く、邦楽のすばらしさを感じることができた		
31	里庄町立 里庄東小学校	目 標	邦楽(箏・尺八)の生演奏を聞いたり、楽器の仕組みや奏法を教わったりしながら、和楽器への興味関心を高める。
		講 師	[箏曲] 三上 之都 [尺八] 石田 輝山
		対象者	5・6年生91名
		日 時	令和6年1月16日(火) 8:45～12:05
		内 容	・「春の海」演奏鑑賞 ・箏での演奏体験「さくらさくら」 ・尺八の楽器紹介と塩ビ管尺八を使っでの演奏体験
成 果	箏や尺八の生演奏を聞くことで、CDやDVDでは味わえない息づかいや響きなどの臨場感を感じることができた。また、尺八は音を出すのは難しかったが、粘り強く取り組み音が出たときの達成感を味わうことができた。箏の演奏体験では、一面二人組でお互いに声を掛け合うことで協調性を育むことができた。		

番号	学校名	講座詳細	
32	久米南町立 弓削小学校	目 標	箏と尺八の生演奏を聞いたり、実際に体験したりすることにより、それらの楽器に親しみ、日本の音楽の特徴や雰囲気を感じることができるようにする。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子 [尺八] 塩治 尺山
		対象者	4～6年生20名
		日 時	令和5年11月16日(木) 10:45～12:25
		内 容	・箏、尺八の楽器説明 ・「春の海」演奏の鑑賞 ・演奏体験 ・尺八の講師との合奏
成 果	間近で生演奏を聞くことにより、和楽器の音色のすばらしさや奏法について知ることができた。そして、実際に楽器に触れて演奏体験をすることで、演奏する楽しさと難しさを味わうことができた。		
33	久米南町立 誕生寺小学校	目 標	日本の音楽の良さや楽器の響きの美しさを味わいながら聞き、楽器の音色を生かして演奏にチャレンジする。
		講 師	[箏曲] 三上 之華 [尺八] 大森 勢山
		対象者	4・5年生12名
		日 時	令和6年1月23日(火) 10:30～12:15
		内 容	・和楽器の話、演奏の鑑賞 ・わらべうたの演奏体験
成 果	普段触れることのない箏や尺八の演奏を実際に体験することで興味をもち、演奏の楽しさを感じられた児童が多かった。また、音色を味わう児童も多く、和楽器への関心が高まった。		
34	吉備中央町立 津賀小学校	目 標	箏・尺八に実際に触れたり、音を出したりすることにより日本の楽器の音を楽しむ。
		講 師	[箏曲] 木村 倫子 [尺八] 井藤 侃山
		対象者	3～6年生19名
		日 時	令和5年11月28日(火) 13:50～15:25
		内 容	箏・尺八演奏の仕方を分かりやすく指導していただき、講師による「春の海」の演奏を鑑賞
成 果	箏・尺八に実際に触れることで和楽器に興味、関心をもつことができた。		
35	吉備中央町立 上竹荘小学校	目 標	伝統的な和楽器(箏曲・尺八)の本物の演奏を聞き、実際に演奏体験をすることで、和楽器に親しむとともに日本の文化を知る機会とする。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子 [尺八] 塩治 尺山
		対象者	4・5年生16名
		日 時	令和6年1月15日(月) 13:30～15:05
		内 容	・楽器紹介、講師による演奏「春の海」鑑賞 ・箏曲、尺八演奏体験 ・講師とともに「さくらさくら」合奏 ・講師による演奏「さくら舞曲」鑑賞
成 果	・箏と尺八を初めて見たり、触れたりする貴重な体験をすることができた ・爪をつけて箏曲を演奏したり、尺八の音を出すことの大変さを実感したりすることができた ・講師による演奏を直に鑑賞することで、名曲をより身近に感じる機会とすることができた		

【和太鼓】

1	岡山市立 操明小学校	目 標	放課後における安全・安心な居場所づくりの一環として、子どもたちに人気と関心の高い和太鼓の体験学習を通して、明るく健やかな子どもの成長の機会を地域と協働で一体となって提供する。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	全学年42名
		日 時	①令和5年6月2日(金) 16:00～17:00 ②令和5年9月1日(金) 16:00～17:00 ③令和5年10月6日(金) 16:00～17:00 ④令和6年2月2日(金) 16:00～17:00
		内 容	日本の伝統楽器である和太鼓の親しみ方、学習の心構えや礼儀作法から演奏の姿勢動作、ばちの使い方リズムのとり方など、基本作法を初心者でも分かるように指導いただいた。
成 果	和太鼓の講座では、演奏技法について洗練された丁寧な指導で子どもの心をつかみ、楽しみながら学べ、上達も速かった。操明学区のふれあい行事の桜まつりに、和太鼓教室として出演し、地域の方から喜ばれた。		
2	岡山市立 庄内小学校	目 標	・日本に古くから伝わる伝統文化に触れ、そのよさに気付くとともに、大切にしていこうとする態度を育てる ・和太鼓の奏法を学び、合奏のなかで基礎的な奏法や姿勢で演奏することができるようになる
		講 師	塩尻 司
		対象者	5年生93名
		日 時	①令和5年6月8日(木) 9:40～12:25 ②令和5年9月28日(木) 9:40～12:25
		内 容	・和太鼓についての説明、たたき方、模範演奏 ・合奏曲「ソーラン節」の和太鼓パートの指導
成 果	伝統文化のよさに気付き、これからも大切にしていこうとする気持ちをもつとともに、和太鼓の音色や迫力を発表会の合奏のなかでも活かしていこうとする意欲を高めることができた。		
3	岡山市立 御津南小学校	目 標	本校の伝統である和太鼓にどう向き合っていくか、どのような演奏をするかについて考え、技術を身に付けていく。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	6年生20名
		日 時	①令和5年6月14日(水) 9:40～10:40 ②令和5年10月5日(木) 9:40～11:40 ③令和5年11月1日(水) 9:40～10:40
		内 容	・和太鼓指導 ・礼儀や作法の指導
成 果	田中先生に来ていただけたため、今年度も本校の伝統を大切にしたい和太鼓演奏ができた。また、演奏を見た下級生も、和太鼓を叩きたいという思いをもった。		

番号	学校名	講座詳細	
4	岡山市立 古都小学校	目 標	4年ぶりに地域のお祭りが開催されることとなり「子どもたちの元気な太鼓演奏でお祭りを盛り上げてほしい」と実行委員会からの声がかかり、地域の伝統でもある「古都音頭」を次世代に継承するためにも、可能な限り子どもたちに和太鼓演奏の機会を設けたい。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	3～5年生9名
		日 時	①令和5年7月6日（木）16：00～17：00 ②令和5年7月13日（木）15：00～16：00 ③令和5年7月20日（木）10：00～11：00 ④令和5年7月28日（金）10：00～11：00
		内 容	今年度は、3年生以上のクラブ在籍児童向けに開催。久しぶりのお祭りでの太鼓演奏で、少ない練習回数でも本番を迎えられるように、放課後児童クラブの9名の少数精鋭でのチーム組とした。和太鼓の基本所作、日本古来のお辞儀の仕方、地元を受け継がれてきた「古都音頭」、勇壮な太鼓囃「豊地～閃光」、楽しく軽快な「はじまり」の3曲を練習。
成 果	・本年度は「ぶどうの里古都ふれあい祭り」に向け、熱中症に注意しながら体育館での練習に励んだ。ほとんどの児童が太鼓経験者だったので、難しい太鼓囃での演奏もスムーズに音を合わせる事ができ、打つときの姿勢や時間差での乱れ打ちなど、例年以上の出来栄となった ・短期間の練習のなかで、田中先生の指導に一生懸命に応えようとする児童の姿に、目頭が熱くなる場面もあった。地域の人々からの歓声と拍手を受けて、来年度に向けての「古都音頭」の継承と、地元への愛着の心が芽生えたのではないかと感じた		
5	岡山市立 南輝小学校	目 標	支援学級の児童にとって、姿勢の維持・適切な声の出し方・体のバランス調整など、難しいことが多く、それぞれの児童に課題がある。今回の体験を通して、活動の楽しさを感じながら、自立活動としての学びが深まることを目指してとする。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	1～3年生27名（特別支援学級4クラス）
		日 時	①令和5年9月25日（月）9：40～11：30 ②令和5年11月16日（木）9：40～11：30
		内 容	基本的な姿勢やばちの動かし方を、講師の動きを真似することで習得していった。いくつかのリズムパターンを練習し、その後、曲に合わせて太鼓の演奏を楽しんだ。昨年度の経験がある児童は、動きをよく覚えていて楽しんでいた。初めての児童は、動きもぎこちなく恐る恐る太鼓をたたいている感じだったが、2回目は慣れて楽しんで取り組んでいた。緊張していた1回目に比べ、リズムに乗って楽しく演奏する姿が見られた2回目だった。「楽しい」「もっとやりたい」という声が開かれ、充実した活動となった。
成 果	太鼓の演奏ならではの動きがたくさんあったが、先生の話をよく聞いて、動きをよく見て真似しようとする姿が見られた。次々と新しい動きを真似していくことにも一生懸命着いていき、楽しんで練習することができた。一連の動きができた後は、曲に合わせて演奏することで、一段と意欲的に活動する姿が見られ、体を動かしたり、友だちと合わせたりする心地よさや楽しさを感じることができていたようだ。経験のある児童には昨年度の学びが生かされている姿が見られたことから継続することの大切さを感じた。		
6	岡山市立 中山小学校	目 標	担任は児童同士をつなげる支援を、講師は演奏技術を中心に指導することにより、コミュニケーションの課題と演奏技術の両方の向上を目指し、児童の成功体験を増やすこと。発表会も実施する。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	特別支援学級1～4年生41名
		日 時	①令和5年10月13日（金）13：30～14：30 ②令和5年11月24日（金）13：30～14：30 ③令和5年12月8日（金）13：30～14：30 ④令和6年1月12日（金）13：30～14：30
		内 容	授業の始めに、日本の伝統のお辞儀の仕方を一つずつ丁寧に指導してもらった。今年度から新しく演奏する曲と去年した曲の指導をしてもらった。担任では指導が難しい演奏部分を、児童ができるように詳しく指導してもらった。
成 果	難しい演奏部分を分かりやすく指導してもらえたことで、児童の演奏技術が向上した。講師が全体の指導をしてくれるので、担任たちは個別の困っている児童の対応をすることができ、児童に、より分かった、できたという経験をさせることができた。できることが増えていくことで、どの児童もより集中して取り組むようになり、休み時間に教え合う姿もしばしば見られた。一つのことを友だちと創り上げていく経験は、友だちと合わせようとする気持ちを高め、言葉だけでなく目も使ってコミュニケーションをとる姿が見られるようになった。		
7	倉敷市立 緑丘小学校	目 標	50周年式典に向けて練習した曲を地域の「桜まつり」で演奏したところ大変喜ばれたので、引き続き指導していただき緑丘小学校の和太鼓演奏を継承したい。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	4～6年生15名
		日 時	①令和5年6月15日（木）15：00～15：45 ②令和5年6月29日（木）15：00～15：45 ③令和5年9月14日（木）15：00～15：45 ④令和5年10月4日（水）13：10～13：55
		内 容	和太鼓の演奏技術、立ち方、座り方や礼の作法など。
成 果	和太鼓演奏のすばらしさや迫力を間近で体感することで、子どもたちが楽しみながら練習し、伝統文化のすばらしさを感じながら演奏できるようになった。地域の「秋まつり」では、自信をもって演奏することができた。		
8	津山市立 弥生小学校	目 標	学年の良さを生かし、昨年度もとても良かったという報告をもとに、今年度も和太鼓の魅力や、大きな音がそろう（友だちとそろう）ことを学ばせたい。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	6年生85名
		日 時	令和5年11月29日（水）9：40～12：25
		内 容	・和太鼓の歴史、つくり ・たたき方（ばちの持ち方） ・実践してまとめ（音楽に合わせてたたく）
成 果	講師の明るさで、不安そうな子どもたちは一気に心も体も軽くなり、あっという間の45分間だった。ただだけでなく、和太鼓の歴史などを知ることでもでき、子どもたちの感想にもそのことが多く書かれていた。リズムも分かりやすい言葉で教えていただき、音楽に対して苦手意識のある児童も楽しめた。		
9	備前市立 三石小学校	目 標	学習発表会での演奏を目標にするとともに、練習を通して和太鼓という日本の文化に触れ、その楽しさを味わう。
		講 師	塩尻 司
		対象者	6年生16名
		日 時	①令和5年9月26日（火）10：45～11：30 ②令和5年10月10日（火）10：45～11：30 ③令和5年10月31日（火）10：45～11：30 ④令和5年11月7日（火）10：45～11：30
		内 容	・演奏曲の作成と指導 ・和太鼓の歴史についての講話 ・演奏に向けての心構えについて
成 果	・児童が自信をもって本番をむかえることができ、休憩時間にも進んで練習に取り組み、和太鼓の演奏に親しむことができた ・和太鼓を通して、心身ともに成長することができた		

番号	学校名	講座詳細	
10	赤磐市立 山陽西小学校	目 標	学習発表会で、子どもたちの成長が伝わるような和太鼓演奏を経験させたい。頑張る心や支える心など非認知能力を育てる。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	6年生28名
		日 時	①令和5年6月1日（木）9：35～10：35 ②令和5年10月23日（月）9：35～10：35 ③令和5年11月8日（水）13：15～14：15 ④令和5年11月27日（月）8：40～9：40
		内 容	基本所作、演奏指導
成 果	子どもたちにとってはとても高い壁だったが、その分乗り越えたときの達成感は今までに味わったことがないものになった。また、和太鼓で伝える力の大切さも学んだ。		
11	赤磐市立 城南小学校	目 標	音楽科の学習のなかで、和楽器（和太鼓）の演奏に児童が意欲をもって主体的に取り組むことができる。さらに、目標に向かって練習を重ねることの大切さを実感し、身につけた技能を表現することができる。
		講 師	塩尻 司
		対象者	6年生19名
		日 時	①令和5年7月7日（金）10：45～11：45 ②令和5年9月1日（金）10：45～11：45 ③令和5年10月13日（金）10：45～11：45 ④令和5年10月27日（金）10：45～11：45
		内 容	・和太鼓の歴史や太鼓の音もつ意味などの講話 ・正しい姿勢で拍を打つことなどの基礎的な練習の指導 ・楽譜に沿ったリズムや音の強弱などの演奏の指導
成 果	和太鼓の音がそろう喜びと全員で演奏する楽しさを練習を通して味わうことができた。そして、学習発表会の予行では全児童に、本番では保護者や地域の方々に、真剣で迫力のある演奏を披露することができた。これにより、当初の目的を達成することにつながった。		
12	矢掛町立 小田小学校	目 標	学習発表会での発表を目標として、礼儀作法の習得、和太鼓の演奏の仕方、表現の仕方を身に付けるとともに、小田地区の「武苔太鼓」を伝承していく心情や態度を育てる。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	5・6年生33名
		日 時	①令和5年9月11日（月）9：30～10：30 ②令和5年10月4日（水）9：30～10：30 ③令和5年10月18日（水）9：30～10：30 ④令和5年11月8日（水）9：30～10：30
		内 容	・和太鼓の演奏の仕方と表現の仕方 ・基本的な礼儀作法（あいさつ） ・「武苔太鼓」を伝承していく心構え
成 果	6年生が昨年度の経験を活かして自信をもって演奏したり、5年生に教えたりする姿が見られた。5年生も伝統を受け継ぐ思いをもって、和太鼓に向き合うことができた		
13	なかよし保育園	目 標	・和太鼓を通じて、礼儀作法を身に付ける。 ・和太鼓を演奏する楽しさを知り、みんなで一つのことに取り組む楽しさを味わう。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	5歳児30名
		日 時	①令和5年6月7日（水）10：00～11：00 ②令和5年7月5日（水）10：00～11：00 ③令和5年7月19日（水）10：00～11：00 ④令和5年8月23日（水）10：00～11：00
		内 容	・和太鼓の礼儀、所作、挨拶の仕方など ・和太鼓のたたき方（姿勢、構えなど） ・音楽に合わせての和太鼓演奏
成 果	・所作や基本的な姿勢、たたき方などが身につけてきている ・友だちとリズムを合わせてたたくことの楽しさを感じ、意欲的に練習へ取り組んでいる。一つひとつの動きに難しさを感じている子もいたが、講師からの指導を受け、できたときの喜びを感じ、自信をもつことができた		

【銭太鼓】

1	高梁市立 福地小学校	目 標	地域の指導者から銭太鼓を習い始めて10年目であり、学校の伝統となっている。プロフェッショナルの講師の先生から本格的な指導を受けることで児童の技術と意欲の向上を図り、より深い達成感を味わわせたい。また、銭太鼓を楽しんでもらうことで自信をもって地域貢献の一役も担えるようにしたい。
		講 師	宮坂 一樹
		対象者	全学年15名
		日 時	①令和5年9月8日（金）13：15～14：00 ②令和5年9月29日（金）13：15～14：00 ③令和5年10月25日（水）11：30～12：15 ④令和5年11月10日（金）13：15～14：00
		内 容	「Rising Sun」「豊年こいこい節」の技術指導と、銭太鼓を踊ることに対する思いの伝授
成 果	学習発表会に向けて本校の児童に合った振り付けを教えていただいたので、児童は自分にもできそうだと見通しをもって練習に取り組み、自主練習する姿が見られた。姿勢や所作のポイントとともに、銭太鼓を披露することについて講師ご自身の思いも話していただき、児童の意欲と技術が大きく向上した。そして、発表本番での心構えについても話していただき、自信をもって本番を迎えることができた。		

【茶道】

1	岡山市立 五城小学校	目 標	日本文化の良さを学ぶ。
		講 師	富士原 宗由
		対象者	6年生7名
		日 時	令和5年6月6日（火）10：45～12：15
		内 容	茶道の歴史、作法と体験
成 果	児童は日本文化についての興味を高めることができた。		
2	岡山市立 三門小学校	目 標	総合的な学習の時間や社会科の発展として、伝統文化や歴史を体験する。
		講 師	岡田 宗幹
		対象者	6年生30名
		日 時	令和5年6月30日（金）14：00～15：00
		内 容	茶道の作法を学ぶ。
成 果	茶道の作法から礼儀を学び、お茶や和菓子など伝統文化を味わうことができた。		

番号	学校名	講座詳細	
3	久米南町立 神目小学校	目 標	社会科での学習を実際に体験することによって、感受性や想像力を養う。日本文化に親しみ、一つひとつの作法に意味があることを理解し、相手のことを思いながらお茶を点てることのすばらしさを感じる。
		講 師	林 宗裕
		対象者	6年生9名
		日 時	令和5年10月24日（火）13：55～14：40
		内 容	茶道について、作法を学び実際に体験する。茶菓子をいただきながら、作法やお茶の点て方などを学ぶ。
成 果	初めて体験する児童が多かったが、先生に来ていただいて実際に体験できたことが大きな学びになった。お茶の歴史や、一つひとつの作法の意味を教えていただき、教科書では学べないことを体験できた。		

【華道】

1	岡山県立 倉敷琴浦 高等支援学校	目 標	総合的な探求の時間として、余暇活動の充実、コミュニケーション力の向上
		講 師	清水 豊紀
		対象者	3年生24名
		日 時	①令和6年2月26日（月）9：00～10：45 ②令和6年2月27日（火）13：40～15：30
		内 容	造花の花材を用いて卒業式用の自分のコサージュを作成した。生徒がつくりやすいように花材の組み合わせを考え準備していただき、スムーズにすることができた。フラワーアレンジメントでは、自分らしい作品を生けることができた。
成 果	ほとんどの生徒が生け花やコサージュづくりの経験はなかったが、生けはじめると、自分なりのアレンジを加えて、個性的な作品をつくり上げた。		

【狂言】

1	高梁市立 有漢東小学校	目 標	日本の伝統文化の1つである狂言について、実演を見たり、体験することで、日本文化の良さに気付き伝統文化に対する理解を深める。
		講 師	田賀屋 夙生
		対象者	6年生14名
		日 時	令和5年10月3日（火）10：40～12：10
		内 容	・狂言の成り立ちと特徴 ・大きな声ときれいな姿勢を大切にすること ・子どもたちによる「柿山伏」の狂言体験
成 果	・狂言の体験を通して、はっきりと大きな声を出すことや、よい姿勢の大切さを学んだ ・日本文化の良さに気付けた		

【水墨画】

1	岡山市立 岡輝中学校	目 標	開かれた学校づくりを目指し、さまざまな講座を通して、教員以外の大人との交流を深めること
		講 師	水口 美智子
		対象者	1年生5名
		日 時	①令和5年9月25日（月）13：30～14：30 ②令和5年10月4日（水）13：30～14：30
		内 容	墨だけで絵を描く
成 果	2回の講座を通じて筆を使って絵を描く練習に取り組み、最後は色紙に描くことができた。		
2	倉敷市立 旭丘小学校	目 標	社会科「室町の文化」および総合的な学習の時間「日本の伝統に親しもう」の学習を、体験を通じて深めるため。
		講 師	間嶋 郁子
		対象者	6年生57名
		日 時	令和5年9月15日（金）8：40～12：25
		内 容	水墨画についての説明と体験。
成 果	室町時代から現代に続く伝統的文化のすばらしさを実感することができた。		

【書写】

1	岡山市立 浮田小学校	目 標	書き初め展に向けて、長半紙に文字を整えて書く指導をしていただく。
		講 師	柴原 靖彦
		対象者	5・6年生51名
		日 時	①令和5年12月4日（月）9：35～11：30 ②令和5年12月12日（火）9：35～11：30
		内 容	毛筆で長半紙に書くときに中心や字形を意識して書くこと、大きな文字を書くためにはひじをあげて書くことなど、文字を整えるときの注意や筆の運び方について、具体的に教えていただいた。
成 果	児童が気をつけるポイントを細かに声掛け、ご指導いただいたことにより、以前よりものびのびと形の整った文字を書く児童が増えた。		

【陶芸】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 芳明小学校	目 標	社会科「焼き物づくりのさかんなまち伊部」の学習理解に役立てる。
		講 師	大饗 利秀、豊田 賢潔、藤原 章
		対象者	4年生101名
		日 時	令和5年10月27日（金）10：50～12：30
		内 容	・備前焼の歴史や製作工程の映像資料視聴 ・講師によるろくろ実演の見学 ・陶芸体験「ペン立てをつくろう！」
		成 果	・実際に備前焼作家の方の技術を目にする事で昔から大切に受け継がれてきた備前焼の技術とすばらしさを感じることができた ・自分たちで体験することで次世代に伝えていきたいという思いをもつことができた
2	岡山市立 野谷小学校	目 標	教科書で学習するだけでなく、体験を通して、作品づくりの大変さや楽しさを実感する。
		講 師	大饗 利秀、乗松 美歩
		対象者	4年生24名
		日 時	令和6年1月19日（金）13：55～15：30
		内 容	・DVDによる製作工程の学習 ・ろくろ製作実演の見学 ・実技「ペン立てづくり」
		成 果	実際にろくろでコップやとっくり、皿など土の塊がどどん形を変え完成する姿に不思議さとともに感動していた。また、土の感触を味わいながら作品づくりをすることができ、貴重な体験になった。
3	岡山市立 横井小学校	目 標	備前焼づくりの工夫や苦労を体験する
		講 師	大饗 利秀、豊田 賢潔、藤原 章、佐々木 剛
		対象者	4年生131名
		日 時	令和6年2月9日（金）13：50～15：25
		内 容	・DVDを視聴（備前焼のつくり方や工夫、苦労について知る） ・ろくろや菊練りなどの見学（実際に職人の技を見学し、備前焼を作るすごさを体験する） ・備前焼づくり（実際につくってみて難しさや楽しさ、苦労を体験する）
		成 果	・実際に備前焼づくりをすることを通して、どのような工夫や苦労があるのか体感することができた ・地域の伝統文化に触れることができた
4	倉敷市立 倉敷支援学校	目 標	卒業制作のため（美術）
		講 師	大饗 利秀、豊田 賢潔、乗松 美歩
		対象者	3年生26名
		日 時	令和5年12月12日（火）10：30～12：00
		内 容	・陶芸（皿づくり）の実演見学 ・器の作成
		成 果	・本物に触れ、陶芸の実演を見ることでイメージをもつことができた ・卒業制作という目標に向けて自分なりに工夫したり、こだわったデザインを考えたりすることができた
5	備前市立 吉永中学校	目 標	地元産業・文化である備前焼を通して、工芸・デザイン分野について広く深く学ぶ。
		講 師	大饗 利秀
		対象者	3年生30名
		日 時	令和5年6月15日（木）13：40～15：30
		内 容	17cm×17cm×1cmの板状粘土を用いて皿や器を制作
		成 果	板状の粘土にとまどいながらも、結果的には自由な発想で作品制作ができた。

【七宝】

1	玉野市立 胸上小学校	目 標	体験を通して、日本文化の良さやすばらしさ、受け継がれてきた理由に触れることができる。
		講 師	岩本 文子
		対象者	6年生9名
		日 時	令和5年11月27日（月）14：00～15：40
		内 容	七宝焼のキーホルダーづくり
		成 果	日本文化の良さ、すばらしさに気付くことができ、自分たちも受け継いで守っていききたいという態度を育てることができた。
2	玉野市立 玉小学校	目 標	七宝焼の歴史を知り、実際に制作することで、日本の伝統文化のよさに気づき大切にしようとする態度を育てる。
		講 師	岩本 文子
		対象者	6年生13名
		日 時	令和5年12月5日（火）14：00～15：30
		内 容	七宝焼のキーホルダーづくり
		成 果	細やかな作業に難しさを感じながらも、工芸品の美しさに触れ、一生懸命に制作することができた。

番号	学校名	講座詳細	
3	笠岡市立 大井小学校	目 標	日本の重要な伝統工芸である焼き物について調べる活動の中で、実際の七宝焼を体験することで伝統工芸についての理解を深める。
		講 師	岩本 文子
		対象者	6年生21名
		日 時	令和5年10月25日（水）13：45～15：30
		内 容	・七宝焼の土台に児童自らが考えながら銀箔を配置、模様合うよう工夫しながら彩色をおこなった ・焼くことによる色味や風合いの変化を観察したり、ものづくりの工程を経験した
4	総社市立 総社中学校	目 標	日本の伝統工芸である七宝焼の由来や歴史を学ぶことで、日本文化のすばらしさに気づき、実際に鑑賞・制作してその魅力を体感する。
		講 師	岩本 文子
		対象者	全学年12名（クラブ活動）
		日 時	令和5年8月3日（木）10：00～12：00
		内 容	・七宝焼の由来と歴史 ・デザインを考えキーホルダーを制作
成 果	・日本の伝統工芸に興味をもち、日本文化のすばらしさに気付くことができた ・普段接することが少ない七宝作品づくりを通じて、今後の個人・共同制作の発想に活かそうとする意欲をもつことができた		

【染織】

1	岡山県立 岡山南支援学校	目 標	一人ひとりの創造力や表現力を高めるためと、教師の指導力を高めるため。
		講 師	藤原 由妃
		対象者	高等部2年生43名
		日 時	①令和5年6月28日（水）13：00～14：00 ②令和5年7月3日（月）12：50～14：10 ③令和5年7月10日（月）13：00～14：00
		内 容	草木染
成 果	・廃棄される玉ねぎの皮の再利用方法を知ることができた ・煮ることで白い生地に着色される変化を実体験し、生徒みんなで驚きを共有した		

【俳句】

1	津山市立 南小学校	目 標	言葉を吟味し、豊かに表現する力を育てる。
		講 師	保田 基、黒瀬 紘子
		対象者	5年生24名
		日 時	令和6年1月17日（水）10：35～12：10
		内 容	①西東三鬼の説明を聞く ②句を作成し、投票する ③順番に披講 ④講師からの総評
成 果	・自分の学校の近くに俳人の西東三鬼がいたことを知ることができた ・俳句づくりを通して、考えることの楽しさを味わった		

【川柳】

1	真庭市立 川上小学校	目 標	川柳について学ぶとともに、自分の言葉、決まったリズムで表現する楽しさを感じる。
		講 師	北川 拓治
		対象者	5・6年生23名
		日 時	令和5年6月8日（木）9：40～11：30
		内 容	・川柳についての基本 ・ふるさと蒜山の良さを川柳にする
成 果	・川柳を作る楽しさを感じ、表現力が身についた ・蒜山の良さについて、改めて考えることができた		

【着付け】

1	笠岡市・矢掛町 中学校組合立 小北中学校	目 標	和服を着る体験を通して、和服や日本文化に興味をもつ。
		講 師	近藤 典博、原田 宣明
		対象者	1年生17名
		日 時	令和5年7月11日（火）13：35～15：25
		内 容	・浴衣の歴史、構造と名称 ・浴衣の着用と帯の締め方 ・浴衣を着たときの所作とたたみ方
成 果	初めて浴衣を着た生徒たちから「また着てみたい」「着物の歴史を知ることができて良かった」などの感想があった。また「座り方や立ち上がり方などのマナーがわかって良かった」などの反省も多くあった。		

【選択授業】

番号	講座詳細		
1	岡山市立 岡北中学校 茶道/水墨画	目 標	第2学年の総合的な学習の時間で、地域の方を講師に招いて、さまざまな講座を開講し、生徒の興味や関心を高めながら日本文化に親しんだり、作品づくりを行う。
		講 師	[茶道] 佐藤 宗喜 [水墨画] 水口 美智子
		対象者	2年生19名(茶道9名、水墨画10名)
		日 時	令和5年9月28日(木) 13:30～15:30
		内 容	[茶道] ①お茶の点て方、すずめ方、お茶のいただき方、お菓子の取り方 ②帛紗のたたみ方、棗、茶杓の拭き方と茶巾のたたみ方 ③盆点前の作法 [水墨画] ①水墨画について ②筆遣いや構図の練習 ③下書き、清書 ④落款づくり ⑤発表会用のスライド制作 ⑥作品展示
成 果	[茶道] 講座の中で茶道の基本を学び、盆点前ができるようになった。 [水墨画] 講座の中で水墨画の制作と落款印を作成し、完成した作品を展示するとともに、自分たちが学んだ成果をプレゼンテーションソフトを使って、学年生徒と保護者、講師の前で発表することができた。		
2	岡山市立 西大寺南小学校 茶道/華道	目 標	茶道・華道の体験を通して、社会科の授業で学習した室町文化についての理解を深め、礼儀作法の意味や大切さについて学ぶ。
		講 師	[茶道] 宮本 京子 [華道] 佐藤 敬子、絹輪 みどり
		対象者	6年生31名(茶道12名、華道19名)
		日 時	令和5年10月6日(金) 13:50～15:25
		内 容	[茶道] 礼儀作法を学び、お茶のいただき方や点て方などを体験した。 [華道] 歴史や花の種類などについて教えていただき、実際に生け花を体験した。
成 果	茶道・華道の体験を通して、礼儀作法の必要性や大切さについて学ぶことができた。室町時代から続いている文化に、思いをはせて体験したことで、歴史や文化についての理解も深まった。		
3	岡山市立 幡多小学校 茶道/華道/和太鼓/ 銭太鼓/投扇興	目 標	日本の伝統的な文化に触れ、体験したり調べたりすることを通して、日本の文化を尊重しようとする態度を育てる。
		講 師	[茶道] 藤井 宗真 [華道] 佐藤 敬子、岸田 洋枝 [和太鼓] 田中 みずほ [銭太鼓] 宮坂 一樹 [投扇興] 田中 克郎
		対象者	3年生136名(茶道28名、華道30名、和太鼓23名、銭太鼓25名、投扇興30名)
		日 時	令和5年10月17日(火) 9:15～11:00
		内 容	[茶道] ①基本講義 ②お茶の作法やお菓子の食べ方の指導と実演 ③実践と質問 [華道] ①基本講義 ②生け花体験 [和太鼓] ①礼儀作法について ②和太鼓の基本講義 ③演奏体験 [銭太鼓] ①銭太鼓の歴史 ②演奏体験 ③講師の演技鑑賞 [投扇興] ①投扇興のお手本と銘定の紹介 ②練習 ③投扇興で点数をつけて競う
成 果	[茶道] 歴史や作法について、分かりやすく繰り返しご指導いただき、子どもたちが楽しく体験することができた。やさしく丁寧に教えてくださり、子どもたちも「またやりたい」と感想を伝えていた [華道] 花の種類や華道の歴史を学んだ後、実際に作品を制作したことで、児童は自分の発想を活かして表現する楽しさを体験することができた [和太鼓] 和太鼓の基本について学んだり、実際に曲を演奏し、伝統の技を感じながら表現しようと工夫し楽しんで活動することができた [銭太鼓] 銭太鼓の歴史について学んだり、実際に触れて演奏をする活動を通して、伝統文化を楽しみながら学ぶことができた [投扇興] 後楽園にちなんで銘定を教えてください、実際に投扇興で遊ぶことを通して、集中して的確をねらったり、友だちと声をかけ合ったりしながら伝統文化を味わうことができた		
4	岡山市立 御野小学校 華道/水墨画/狂言	目 標	室町文化について学習したことを、実際に体験することでより親しみ、学びを深める。
		講 師	[華道] 佐藤 敬子、岸田 洋枝 [水墨画] 水口 美智子 [狂言] 田賀屋 夙生
		対象者	6年生115名(華道41名、水墨画39名、狂言35名)
		日 時	令和5年10月23日(月) 8:50～10:20
		内 容	[華道]・歴史についての話 ・講師によるお手本実演(作品を置く場所とテーマ決め) ・生け花体験 [水墨画]・色紙に墨で絵を描く ・講師のお手本を見ながら、太い筆と細い筆を使い分け、色もぬりながら描く [狂言] 狂言についての話 ・構え方、歩き方、笑い方、声の出し方などの体験 ・狂言「柿山伏」をグループに分かれて体験
成 果	[華道] 自分の思うままに表現することの楽しさを味わえた [水墨画] 墨だけで、太い線や細い線、濃い薄いを描き分け、楽しみながら自分の1枚を仕上げることができた [狂言] 狂言を体験することで、そのおもしろさを感じるとともに、室山文化に触れることができた		
5	倉敷市立 児島小学校 華道/茶道/水墨画 和太鼓	目 標	文化体験を通して、日本の伝統的な文化に興味をもち、現代に受け継がれている文化についての理解を深める。
		講 師	[華道] 尾崎 好子、土谷 幸子 [茶道] 宮本 京子 [水墨画] 間嶋 郁子 [和太鼓] 塩尻 司
		対象者	6年生112名(華道27名、茶道29名、水墨画26名、和太鼓30名)
		日 時	令和5年9月22日(金) 10:30～12:00
		内 容	[華道] 歴史や生け方を学び、花材を活かして花を生ける [茶道] 歴史や飲み方を学び、作法を大切にしてお茶をいただく [水墨画] 歴史や描き方を学び、墨の濃淡を活かして絵を描く [和太鼓] 姿勢や鳴らし方を学び、みんなで演奏する
成 果	・社会科で学んだ内容と、現代の日本文化が繋がっていることに気付き、日本固有の文化に興味をもつことができた ・昔の文化をもっとたくさん知りたい、自然の物や自分の個性を大切にしていきたい、中学生になっても昔の文化を大切にしたい(児童の感想より)		

■一般文化芸術部門■

【合唱】

(行政順・日程順)

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山県立 岡山南支援学校	目 標	歌唱やリズムのポイントを知り、楽しく声を出したりリズムを表現したりできるようにする（声の出し方、リズムの取り方、表現の方法など）。
		講 師	高野 敦
		対象者	中学部3年生14名
		日 時	①令和5年9月4日（月）9：40～10：30 ②令和5年9月25日（月）9：40～10：30 ③令和5年10月2日（月）9：40～10：30 ④令和5年10月16日（月）9：40～10：30
		内 容	・声を出すときの呼吸法・姿勢・体操、発声をするときの体の使い方・リズムの取り方 ・歌唱指導「きらめいて中学部」「にじ」「セブンスステップス」 ・鑑賞映像を利用した合唱「にじ」「緑の虎」の鑑賞
成 果	・声の出し方や呼吸法、発声方法、リズムの取り方などを楽しく学習することができた ・曲調や歌詞をイメージして、生徒それぞれが歌ったり、歌に合わせて身体表現することができるようになった ・専門家の指導により、生徒たちが本格的な音楽の雰囲気を感じることができた		
2	岡山市立 建部小学校	目 標	音楽会に向けて、児童・教師ともに発声について教えていただきたい。
		講 師	脇本 恵子
		対象者	3・4・6年生62名
		日 時	①令和5年9月26日（火）13：35～14：20 ②令和5年10月3日（火）13：35～14：20 ③令和5年10月10日（火）13：35～14：20 ④令和5年10月24日（火）13：35～14：20
		内 容	発声指導と各学年の発表曲について歌詞の意味、歌い方（技能）の指導
成 果	発声の仕方を知り、正しく発声しようとする姿が見られた。また、歌詞の意味を理解することで表現力が身につく、選曲についてもアドバイスをいただいた。		
3	岡山市立 福渡小学校	目 標	プロの歌手でもある講師に発声や曲想のとらえ方などを教えていただくことにより、合唱に対するモチベーションの向上と、歌唱技術の向上をねらう。
		講 師	畑山 かおり
		対象者	全学年39名
		日 時	①令和5年9月28日（木）10：30～12：10 ②令和5年11月8日（水）10：30～12：10
		内 容	1・2年生と3～6年生に分かれて、校内音楽発表会の合唱曲の指導をしていただいた。
成 果	指導後は、声の大きさ、強弱ともに上手に歌えるようになった。		
4	岡山市立 小串小学校	目 標	10月（2学期）には学習発表会、2月（3学期）には卒業式に向けて歌唱の基礎を学ぶことで、児童が見通しや意欲、自信をもって歌唱活動に臨めるようになること。また、学校生活の重要な節目の行事における歌唱活動に対して主体的に取り組み、達成感をもてるようになること。
		講 師	脇本 恵子
		対象者	全学年22名
		日 時	①令和5年10月24日（火）10：45～11：30 ②令和5年10月31日（火）10：45～11：30 ③令和6年2月27日（火）10：45～12：20
		内 容	【10月】呼吸や姿勢等の発声の基礎と、学習発表会の全校歌唱曲「すべての山に登れ」について、基礎事項の活用、楽曲理解と歌唱表現を指導いただいた。 【2月】呼吸や姿勢等の発声の基礎と、卒業式の全校歌唱曲「365日の紙飛行機」および本校校歌について、楽曲理解と歌唱表現を指導いただいた。
成 果	講座前は声を張り上げて歌う児童が目立っていたが、受講後は児童の中で「(先生のような)響きのある声で歌おう」という意思をもって声を出すようになった。他の曲に臨んだ際も、自発的に声の出し方を考えて歌う姿が見られるようになった。		
5	岡山市立 馬屋上小学校	目 標	学習発表会、卒業式に向けての合唱の上達
		講 師	佐々木 英代、鴨井 敦子
		対象者	全学年24名
		日 時	①令和5年10月26日（木）13：40～14：40 ②令和5年11月9日（木）13：40～14：40 ③令和6年2月22日（木）13：40～14：40
		内 容	発声や声の出し方を指導していただいた。「やさしさにつつまれたなら」「卒業の日よおめでとう」「ひろい世界へ」の二部合唱の指導や歌い方、リズムのとり方の指導をしていただいた。
成 果	腹筋を使って、頭声発声で声が出るようになり、高音がきれいになった。互いの声を聞き合うことの大切さを指導していただき、声がそろうようになった。二部に分かれるときの音のとり方を指導していただき、自信をもって歌うことができるようになった。		
6	岡山市立 御津小学校	目 標	コロナ禍でできなかった歌唱について、意欲付け並びに発声の基本を経験すること
		講 師	畑山 かおり
		対象者	4～6年生70名
		日 時	①令和5年11月2日（木）11：20～12：20、14：00～15：00 ②令和5年11月15日（水）13：00～14：00 ③令和6年2月27日（火）14：30～15：40
		内 容	・口形、姿勢、心構え ・歌う時の留意点 ・卒業式の歌
成 果	講師の歌い方を聞き、新たな気付きがあった。生の歌を見聞きでき感激した児童が多かった。		

番号	学校名	講座詳細	
7	倉敷市立 柏島小学校	目 標	「きりり発表会」に向けて、歌唱力・表現力の向上を目指す。コロナ禍が明け、マスクを外しての歌唱が戻ってきたが、これまで歌う機会が無かったため、児童に歌うことの楽しさを味わわせたい。
		講 師	畑山 かおり
		対象者	5年40名
		日 時	①令和5年10月11日（水）13：30～15：20 ②令和5年10月25日（水）13：30～15：20
		内 容	・声を響かせるための発声指導 ・ソプラノ・アルトの音取りとパート別指導 ・歌唱中の息つきや歌い出しなどの合唱指導
		成 果	講座実施前は、元気に歌うだけの合唱だった児童が、各パートを聞き合い、ハーモニーを意識して歌うようになった。また、全体の音量が大きくなるだけでなく、響きのある声になり、地声の児童が少なくなった。
8	倉敷市立 柳井原小学校	目 標	学芸会に向けての歌唱指導と歌う時の姿勢、発声の仕方などを教わり、児童の歌唱力向上を狙う。
		講 師	山下 典子
		対象者	全学年46名
		日 時	①令和5年10月12日（木）9：25～10：10 ②令和5年10月26日（木）9：25～10：10 ③令和5年11月16日（木）10：40～11：25 ④令和5年11月22日（水）13：50～14：35
		内 容	・歌う時の姿勢、発声の仕方の指導 ・遠くへ声を届けるためのポイントを教わりながら、学芸会で歌う曲の歌唱指導
		成 果	回を重ねるごとに、遠くまで響く歌声が出せるようになり、伴奏を聞きながら、指揮者を見ながら全員で心一つに歌うことができるようになった。そして本番では、会場全体に響く歌声を保護者や地域の方に聞いていただくことができた。
9	倉敷市立 本荘小学校	目 標	学習発表会にむけて、合唱の基礎・基本を身につける。
		講 師	山下 典子
		対象者	4・5年生36名
		日 時	①令和5年10月13日（金）14：00～14：45 ②令和5年10月31日（火）10：45～11：30 ③令和5年11月9日（木）10：45～11：30 ④令和5年11月17日（金）14：00～14：45
		内 容	・発声練習「いい声出そうワンツースリー」 ・「世界がひとつになるまで」合唱指導
		成 果	初めは地声で歌っており、音量もなかったが、回を重ねるごとにきれいな声で歌うことができるようになってきた。
10	倉敷市立 下津井東小学校	目 標	大きな声で楽しみながら、伸び伸びと歌うことができる。
		講 師	種田 光洋
		対象者	3・4年生14名
		日 時	①令和5年10月20日（金）13：55～14：40 ②令和5年10月27日（金）13：55～14：40 ③令和5年11月10日（金）13：55～14：40
		内 容	・歌う時の姿勢、スキップや歩くなどの身体を使ったリズムの感じ方 ・歌詞を意識したまともりごとの歌い方 ・伸ばすところのタイミングなど楽しみながら歌うコツについての指導
		成 果	歌うときの姿勢がよくなり、胸を張って堂々と歌うようになった。また、伸ばすところやまともりを意識して伸びやかに歌う姿勢が見られるようになり、体を揺らしたり、笑顔を見せたり、楽しく歌うことができた。
11	倉敷市立 玉島南小学校	目 標	学習発表会に向けて正しい歌唱法を学び、一人ひとりが楽しみながら美しい歌声で歌うことができるようになる。
		講 師	山下 典子
		対象者	3・5年122名
		日 時	①令和5年10月26日（木）11：40～14：40 ②令和5年11月13日（月）10：45～12：25
		内 容	歌唱における呼吸法と発声法の指導。
		成 果	美しい歌声やフレーズ感を意識して歌うことができるようになった。
12	津山市立 河辺小学校	目 標	4・6年生は学習発表会に向けて、6年生は更に卒業式に向けての歌唱指導と歌唱力の向上を目指す。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	4・6年生112名
		日 時	①令和5年9月25日（月）10：45～12：25 ②令和6年2月5日（月）10：45～11：30 ③令和6年2月19日（月）13：50～14：35
		内 容	4年生は「いつだって！」6年生は「People of the World」「旅立ちの日に」の歌唱指導。歌う姿勢、発声の仕方、言葉の発音、表現の仕方、声のとばし方、二部合唱パート練習。
		成 果	6年生は計3回の指導で、基本的な声の出し方が定着し、お互いに聞き合うことで歌い方が向上した。4年生は初めて指導を受けたが、昨年度見学をしていたので意欲的に参加し、楽しく、そして自信を持って歌うことができた。
13	津山市立 東小学校	目 標	・音楽発表会、学習発表会に向けた歌唱指導 ・卒業式に向けた歌唱指導
		講 師	鈴木 英子
		対象者	4・6年生85名
		日 時	①令和5年10月12日（木）10：45～11：30 ②令和5年10月18日（水）10：45～11：30 ③令和6年2月26日（月）10：45～11：30 ④令和6年2月29日（木）13：45～14：30
		内 容	・4年生合唱「ふるさと」 ・6年生合唱「旅立ちの日に」
		成 果	合唱のスキルを学ぶことで、歌うことの楽しさや、合唱の心地よさを実感することができた。

番号	学校名	講座詳細	
14	津山市立 高田小学校	目 標	子どもが歌唱の基礎を身に付け、歌う楽しさを味わうとともに、教員が指導の仕方を学んで今後の指導に生かすため。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	1～5年生79名
		日 時	①令和5年10月19日（木）10：40～12：10 ②令和5年11月1日（水）10：40～12：10
		内 容	・1～3年生は、発音・発声の仕方（頭声発声、鼻濁音）と曲に合わせた歌い方、発表の仕方の指導 ④4、5年生は、発音・発声の仕方と二部合唱の歌い方、曲想をとらえた歌い方の指導
成 果	指導を通して、頭声発声に変わり、曲想に合わせて気持ちを込めて歌うことができるようになった。		
15	津山市立 高倉小学校	目 標	・学習発表会（全校児童）と津山市研究演奏会（3・4年生）に向けての合唱指導 ④卒業式の式歌（卒業生の合唱）の指導
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年99名
		日 時	①令和5年10月20日（金）9：35～10：20 ②令和5年11月1日（水）13：05～14：40 ③令和6年2月27日（火）13：45～14：30
		内 容	3・4年生は「COSMOS」、6年生は「旅立ちの日に」、全校児童「Believe」の二部合唱の歌唱指導を行っていただいた。
成 果	・歌う時の姿勢、声の出し方、発声、呼吸の仕方など、基礎的な技能の指導をしていただき、児童は伸びやかに響きのある歌声で歌うことができるようになった ・教員が歌唱指導の方法について知り、その後の指導につなげることができた		
16	津山市立 清泉小学校	目 標	コロナも第5類扱いになり、ようやく歌える気持ちになってきたので、全校生徒43名の小さな学校ではあるが、美しい声で伸びやかに合唱できるようにしたい。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年43名
		日 時	①令和5年10月26日（木）10：40～12：20 ②令和5年11月7日（火）10：40～12：20
		内 容	全校合唱（43名）「もみじ」、3～6年生（35名）合唱「ゆうき」、1・2年生（8名）斉唱「あおいそらにえをかこう」の歌唱指導。
成 果	学習発表会で披露することができ、全校生徒43名ながら、みんな一生懸命歌い、体育館に美しい声が響いた。また、聞いてくださった地域の方、保護者の皆さんに喜んでいただくことができた。		
17	備前市立 伊部小学校	目 標	基本的な歌い方を学び、学習発表会で自信をもって歌えるようになる。
		講 師	桑原 直美
		対象者	4年生63名
		日 時	①令和5年7月14日（金）9：35～10：20 ②令和5年10月13日（金）9：35～10：20 ③令和5年10月27日（金）9：35～10：20 ④令和5年11月10日（金）9：35～10：20
		内 容	・発声の仕方 ④歌唱指導「もみじ」（言葉の発音の仕方、歌詞のまとまりごとの歌い方、パートの重なり部分の音程の取り方）
成 果	・発声の仕方を丁寧に指導していただき、響きのある声で合唱することができるようになった ・歌詞の言葉を意識して歌うことで、思いをこめたり風景をイメージすることができるようになった		
18	備前市立 三石中学校	目 標	学習発表会にて全校合唱を行うにあたりコロナ禍で歌う機会がなかった生徒が、本番のステージに自信を持って立てるように、実技および表現における指導をしよう。
		講 師	畑山 かおり
		対象者	全学年28名
		日 時	①令和5年9月14日（木）13：45～14：35 ②令和5年9月28日（木）14：55～15：45 ③令和5年10月2日（月）14：55～15：45 ④令和5年10月10日（火）14：55～15：45
		内 容	・生徒が選んだ曲を歌うにあたって、口の開け方や歌うときの表情や子音を意識することで歌詞が活かされる事などの指導 ・講師がお手本として1フレーズ歌ったり、生徒と一緒に歌うなどの具体的な歌唱指導
成 果	本校では合唱を行う度に声量が課題であったが、講師の声掛けや明るくパワフルな指導のおかげで課題を早々にクリアし、曲のもつ雰囲気注目したり、表現の部分でレベルアップしたと感じた。		
19	備前市立 西鶴山小学校	目 標	「世界がひとつになるまで」の歌唱指導を通して、児童が適切な発声法や歌唱法を身に付ける。
		講 師	桑原 直美
		対象者	3・4年生14名
		日 時	①令和5年10月27日（金）11：30～12：15 ②令和5年11月10日（金）11：30～12：15
		内 容	・歌う時の姿勢や腹式呼吸、喉を開ける方法などをさまざまな発声練習をしながら教えていただいた ・「世界がひとつになるまで」の練習を通して、子音をきちんと発音すること、歌詞の意味を捉えて表現することを教えていただいた
成 果	さまざまな発声練習をテンポよく進めてくださるので、子どもたちは集中して活動に取り組むことができていた。先生の歌声を聞いたり、体の使い方を見たりすることができたので、子どもたちは目指すゴールが明確に見えており、響きのある声で歌えるようになってきた。		
20	備前市立 伊里小学校	目 標	変声期を迎える児童においては遠慮がちになる傾向があるが、全員で卒業式に自信をもって歌えるようにしたい。
		講 師	畑山 かおり
		対象者	6年生27名
		日 時	①令和5年12月15日（金）11：15～12：00 ②令和6年1月18日（木）11：15～12：00 ③令和6年2月1日（木）11：15～12：00 ④令和6年2月22日（木）11：15～12：00
		内 容	卒業式で歌う「次の空へ」を題材として歌唱指導をしていただいた。歌詞から、イメージを膨らませてどんな風に歌うのがよいか考えること、子音を意識して歌うこと、児童一人ずつの声を聞いて、口の開け方や顎が出ないよう姿勢のアドバイスを個別にくださった。
成 果	歌うことが好きだが高音を出しにくかったり、変声期を迎えて自分の声だけが目立ったりすることが気になっていた児童が自信をもって声を出すことや、曲の良さに気づき、思いを込めて歌えるようになった。		

番号	学校名	講座詳細	
21	赤磐市立 山陽小学校	目 標	合唱の練習
		講 師	畑山 かおり
		対象者	5・6年生129名
		日 時	①令和5年7月5日（水）9：20～10：05 ②令和5年7月12日（水）13：50～14：35 ③令和6年2月20日（火）14：40～15：25 ④令和6年2月28日（水）13：50～14：35
		内 容	拍の流れに乗って生き生きと歌うための姿勢、口形、発声の仕方などを学習した。間延びしないよう「前のめり」に声を出したり、口角を上げて歌ったり、口をしっかりと開けたりすることで、伸びやかな声ではっきりと歌えるようになることを学んだ。
		成 果	講座実施前は声量が十分ではなかったが、実施後は声量も上がり、明るく響く歌声に変わった。パートごとで音がとれにくい原因を教えていただき、改善の糸口を見つけることができた。
22	真庭市立 草加部小学校	目 標	学習発表会の全校合唱の歌と、卒業式の式歌の歌唱指導
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年28名
		日 時	①令和5年10月13日（金）14：00～14：45 ②令和5年10月20日（金）14：00～14：45 ③令和6年2月16日（金）14：00～14：45 ④令和6年2月26日（月）14：00～14：45
		内 容	学習発表会の全校合唱の歌「Wish～夢を信じて」、卒業式の式歌「変わらないもの」の歌唱指導。
		成 果	発声や発音の仕方、歌詞を大切に歌うことなど、歌い方を身に付けようとしたり、仲間と歌声を合わせることの楽しさを感じたりすることができた。
23	真庭市立 湯原小学校	目 標	卒業式に向けて、教師は曲の指導のポイントを学び、児童は高音部も無理なく伸びやかに歌えるようになる。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年67名
		日 時	①令和5年11月27日（月）9：40～11：30 ②令和6年1月18日（木）9：40～11：30
		内 容	・11/27は、低学年と高学年に分かれてのパート練習 ・1/18は、1～5年生の合唱指導と6年生への合唱指導
		成 果	・児童の歌声が指導の前後で大きく変わり、楽しく自信をもって声を出せるようになってきた ・高い声を無理なく出すにはどうしたら良いかが分からない児童も発声の仕方がわかり、しっかり声を出して歌えていた
24	美作市立 大原小学校	目 標	児童が基本的な歌い方について学習し、伸びやかな声で歌えるようになるとともに、教員もその指導の仕方について研修する。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年143名
		日 時	令和5年6月5日（月）13：50～15：30
		内 容	13：50～14：35までは1～4年生、14：45～15：30までは5・6年生が「Believe」の歌唱指導を受けた。具体的には、歌う時の立ち方、口の開け方、発声の仕方を学習し、高学年は低音パートと高音パートに分かれて「Believe」を合唱。
		成 果	・久しぶりの合唱をみんなで楽しむことができ、美しい声が出る姿勢や呼吸法、発声の仕方などを知ることができた ・自分の声、友だちの声を聞き、美しいハーモニーを気持ちよく感じ音楽のすばらしさを感じることができ、本校で育てようとしている3つの心「主体、協働、挑戦」にぴったり合った
25	美作市立 土居小学校	目 標	講師の歌唱指導のもと、合唱練習を行う。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年42名
		日 時	①令和5年6月30日（金）11：15～12：00 ②令和5年10月23日（月）11：15～12：00 ③令和6年2月21日（水）13：15～14：50
		内 容	第1回目は合唱の基礎を学び、第2回目は「まちかどコンサート」（10月28日）に向けての練習、第3回目は卒業式に向けての練習を行った。
		成 果	児童は、歌唱だけでなく、言葉を大切に作る態度が身に付いた。今年度は二部合唱ができることをねらいとしたが、「まちかどコンサート」ではそれが達成できて、地域の人も喜んでくれた。頭声発声がしっかり身に付いた。
26	美咲町立 美咲中央小学校	目 標	・正しい発声の仕方 ・美しく響きのある声で歌う ・二部合唱を楽しむ ・職員も指導のポイントを学ぶ
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年（142名）
		日 時	令和6年2月29日（木）10：35～12：15
		内 容	・頭声発声(姿勢、目線、支え)や歌詞について（鼻濁音、子音をはっきり、歌詞を伝えようとする気持ち）など、卒業式で歌う曲を使っでの指導
		成 果	専門的な発声法を学ぶことで、歌声も表情も豊かになり、積極的にもっと歌えるようになりたいと感じた子どもが多かった。また、職員にとっても指導法のスキルアップにつながった。

【合奏】

1	総社市立 清音小学校	目 標	音楽発表会に向けた合唱・合奏指導
		講 師	杉本 賢志
		対象者	4年生62名
		日 時	令和5年10月17日（火）8：40～10：15
		内 容	[合唱] 歌うときに大切なことの確認、発声・言葉の発音の仕方、ハーモニーの部分の音のとり方。 [合奏] 打楽器の演奏方法、リズムのとり方、リコーダー・けん盤の息の入れ方と合奏で大切なことの確認など。
成 果	・専門的な指導をたくさんしていただき、有意義な時間となった ・ポイントを絞った指導で児童の技術向上が図れた		

【吹奏楽】

1	倉敷市立 西中学校	目 標	[トロンボーン] 楽器の扱い方や奏法など基礎基本を身に付ける [フルート] 楽器の扱い方や奏法など基礎基本を身に付ける [サクソフォーン] 楽器の扱い方や奏法など基礎基本を身に付ける [打楽器] 楽器の扱い方や奏法など基礎基本を身に付ける
		講 師	[トロンボーン] 原田 直郎 [フルート] 野崎 めぐみ [サクソフォーン] 土師 由美子 [打楽器] 仁城 英子
		対象者	吹奏楽部1～2年生14名（トロンボーン4名、フルート2名、サクソフォーン4名、打楽器4名）
		日 時	[トロンボーン] ①令和5年11月18日（土）9：30～11：30 ②令和6年2月10日（土）9：30～11：30 [フルート] ①令和5年10月21日（土）10：00～12：00 ②令和6年2月10日（土）10：00～12：00 [サクソフォーン] ①令和5年10月21日（土）9：00～11：00 ②令和6年2月17日（土）9：30～11：30 [打楽器] ①令和5年7月8日（土）13：45～15：45 ②令和6年2月17日（土）9：30～11：30
		内 容	[トロンボーン] なぜそうなのか…という理論をしっかり理解させながら吹いていった。また息の流れや音の形を確認しながら教えていただいた [フルート] 吹き口への構えなど一人ひとりの課題に対応しながらよい音での演奏になるよう指導いただいた [サクソフォーン] 一人ひとりの楽器の状態をチェックし、個別の時間も取りながら個々に応じたアプローチを丁寧に分かりやすく行っていただいた [打楽器] パチの構え方や腕や身体の使用方から丁寧に指導いただき、基礎練習の取り組み方も教えていただいた
成 果	[トロンボーン] 息の使い方、体の使い方に気を配りながら、丁寧に練習に取り組むことができた [フルート] 先生の美しい音色を参考に、今後の活動にさらに意欲が高めることができた。分かる喜び、できる喜びを感じ、ますます練習にも力が入っている [サクソフォーン] 新しい（知らなかった）気づきが多く、指導いただいたことを実践すると一気に音が変わっていった。吹くことの楽しさも高まった [打楽器] 日頃行っている練習も何気なくやるのではなく、どのような意味があって行っているのかが分かり、また打法を整えることによって音色も変わり、生徒の意識が変化した		
2	玉野市立 日比中学校	目 標	[金管楽器] 基礎練習方法の習得と基礎力・演奏技術の向上 [サクソフォーン] 楽器に関する基本的知識の習得と基礎力・演奏技術の向上
		講 師	[金管楽器] 原田 直郎 [サクソフォーン] 土師 由美子
		対象者	[金管楽器] 吹奏楽部1・2年生5名 [サクソフォーン] 吹奏楽部全学年3名
		日 時	[金管楽器] ①令和5年7月7日（金）15：00～17：00 ②令和5年11月11日（土）9：30～11：30 [サクソフォーン] ①令和5年7月1日（土）9：30～11：30 ②令和5年11月11日（水）9：30～11：30
		内 容	[金管楽器] 基礎練習の方法、練習の進め方と時間配分を学習 [サクソフォーン] 楽器に関する基本的知識と日々の基礎練習に生かす練習方法を学習
成 果	[金管楽器] 金管パートで基礎練習を揃えて行うことで、できてないところを教え合いながら練習できるようになった。 [サクソフォーン] パート内で互いに学んだことを復習し教え合いながら練習することで、基礎力を向上することができた。		
3	瀬戸内市立 長船中学校	目 標	[ホルン] ホルンの実技向上と基礎の習得 [トロンボーン] 基礎力と表現力の向上 [フルート] 基礎力の向上 [クラリネット] 基礎力と表現力の向上
		講 師	[ホルン] 寺谷 政史 [トロンボーン] 原田 直郎 [フルート] 野崎 めぐみ [クラリネット] 松本 典子
		対象者	吹奏楽部・全学年6名（ホルン1名、トロンボーン2名、クラリネット2名、フルート1名）
		日 時	[ホルン] ①令和5年9月9日（土）9：00～10：30 ②令和5年9月16日（土）9：00～10：30 [トロンボーン] ①令和5年10月28日（土）10：00～11：30 ②令和5年12月15日（金）14：00～15：30 [フルート] ①令和5年9月23日（土）10：00～11：30 ②令和6年1月13日（土）10：00～11：30 [クラリネット] 令和5年11月18日（土）9：30～12：30
		内 容	[ホルン] 楽器のかまえ方、息の使い方、指づかいなどの基礎 [トロンボーン] 個人レッスンで基礎練習の意味と方法の指導。アンサンブルレッスンでは、表現力向上のための指導 [フルート] 1年生ということもあり、基礎練習を中心に指導。楽器のかまえ方、指づかい、アンブシュア（口の形）の指導 [クラリネット] 前半はクラリネット一人ひとりの個人レッスン。後半はアンサンブルの表現向上のためのレッスン
成 果	[ホルン] 新しい知識がたくさん増え、90分のレッスンの中でも上達を感じられた [トロンボーン] 基礎練習の方法が分かり、日々の個人練習が充実している [フルート] 基礎的な奏法が習得できた [クラリネット] 音色の向上につながった。基礎力をアップさせるトレーニングの仕方が分かった		

番号	学校名	講座詳細	
4	赤磐市立 磐梨中学校	目 標	小編成バンドのサウンドのつくり方を学び、各楽器の役割を意識した演奏技能の向上を目指す。
		講 師	寺谷 政史
		対象者	全学年14名
		日 時	①令和5年7月2日（日）9：30～11：30 ②令和5年7月16日（日）9：30～11：30
		内 容	コンクール曲「フラワー・クラウン」の演奏指導
成 果	・メロディーを美しく演奏することや拍の頭をそろえること、全体のバランスを考えて演奏することを学んだ ・曲を演奏する意欲が高まった		
5	美作市立 美作中学校	目 標	[打楽器] [クラリネット] [トロンボーン] [ホルン] 毎日の基礎練習のヒントや正しい奏法をつかみ、演奏に生かすことができるようにする [合奏] 合奏のところがまえや技術表現について学ぶ
		講 師	[打楽器] 仁城 英子 [クラリネット] 磯部 真弓 [トロンボーン] 原田 直郎 [ホルン・合奏] 寺谷 政史
		対象者	全学年20名（打楽器3名、クラリネット2名、トロンボーン3名、ホルン3名）
		日 時	[打楽器] 令和5年6月25日（日）9：30～11：30 [クラリネット] 令和5年7月1日（土）9：30～11：30 [トロンボーン] 令和5年6月25日（日）9：30～11：30 [ホルン] 令和5年7月1日（土）9：30～11：30 [合奏] 令和5年7月8日（土）9：30～11：30
		内 容	[打楽器] 打楽器の基礎、表現のしかた、道具の選び方 [クラリネット] 楽器の構造、リードの選び方、演奏の基礎 [トロンボーン] 楽器の手入れの仕方と演奏の基礎 [ホルン] マウスピースの選び方、基礎練習、純正律での音のとり方 [合奏] 合奏の技術面と表現
成 果	[打楽器] ・教えていただいたことをその後の練習に活かせるようになった ・マレットなど必要な道具の選び方が分かるようになった ・自分で考えて練習するヒントにすることができた [クラリネット] ・リードの使い方、選び方など新しい知識を得ることができた ・基礎練習のしかたや注意すべきことを指導していただいたことで、目的を持った練習ができるようになった [トロンボーン] ・1年生にも分かりやすく指導していただき、楽器や演奏への興味や関心をよりもてるようになった ・日々の練習のヒントを得られたので、練習を工夫するようになった [ホルン] ・1年生もいたので基礎をしっかり指導していただき、上級生にとっても知らない知識が多く、新しい発見の多い練習になった ・得た知識を日々の練習で活かし工夫することができるようになった [合奏] 音を聞き合うことの大切さや基礎合奏を曲の中に活かすための視点が得られた		

【器楽】

1	岡山県立 岡山支援学校	目 標	弦楽合奏の鑑賞を行い、実際に演奏している姿を見たり、音を聞き演奏家と話をすることで生演奏の良さや演奏家の思いを知り、音楽への理解や演奏する楽しさを知る。
		講 師	小池 満里子、林 環
		対象者	高等部全学年20名
		日 時	①令和5年6月23日（金）9：00～9：50 ②令和5年9月8日（金）9：00～11：50
		内 容	・各クラスでヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの楽器紹介や特徴、由来を聞いたあとで、それぞれの楽器の音色を短い曲にのせて紹介 ・授業で学んでいる「カノン」のフルバージョンを鑑賞したあと、練習してきた楽器で合奏を体験
成 果	弦楽五重奏の生演奏を鑑賞することで、音色の美しさや迫力、振動を感じることができた。又、いつもの授業で練習してきたハンドベルなどの楽器と合奏する経験を通して一体感を感じ、音を聞いて合わせようとする気持ちが育てられた。		

【映像】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 山南学園	目 標	2年間の探究活動を通して気付いた山南学区の魅力を動画にして地域や世界に発信する。
		講 師	皿井 淳介
		対象者	9年生51名
		日 時	①令和5年6月9日（金）14：45～15：35 ②令和5年7月10日（月）14：00～15：00 ③令和5年10月6日（金）14：00～15：00 ④令和5年11月2日（木）11：00～12：00
		内 容	・動画撮影、動画編集のポイントを学習 ・映像制作の仕方・絵コンテの作成 ・制作した動画を鑑賞しアドバイスを受け、手直しを行い動画を完成
成 果	今までは視聴者の目線でメディアに接していたが、制作者の目線で物事をとらえ、自分たちの伝えたいことを明確化し、相手にきちんと伝えるにはどうすればよいのか考えることができた。又、動画を制作していくなかで、これまでの活動を振り返ることができ、山南学区の良さを再認識することができた。		
2	和気町立 佐伯小学校	目 標	地域や自校の課題解決活動の一環として、児童が制作した動画による発信活動を行う。
		講 師	横山 千秋
		対象者	6年生16名
		日 時	①令和5年9月21日（木）10：45～12：20 ②令和5年9月26日（火）13：50～15：25
		内 容	・「魅力的なもの・人・こと」をテーマに動画を撮るための題材決め、台本づくり、撮影などで意識することを教えていただいた ・講師に助言をもらいながら実際に制作活動を行った ・児童が撮影した動画をもとに講師が編集した動画を鑑賞した
成 果	・動画を制作し発信するとき自分が伝えたいことを伝えるためには、相手意識をもつことや、伝えたい内容を明確にすることが大切だと学んだ ・「すてきな友だちがいること」「舟岡山など自然に囲まれていること」「地域の方との交流が盛なこと」など、佐伯小学校や佐伯町の魅力を再発見できた		

【造形表現】

1	岡山市立 西大寺小学校	目 標	・初めての活動に興味をもって取り組むことができる ・友だちと仲良く体験活動することができる
		講 師	芝 眞路
		対象者	全学年32名
		日 時	令和5年9月15日（金）9：00～12：10
		内 容	・粘土に慣れることを目標とし、丸めたり、ひも状にのばしたりした。その後グループで協力し、ひも状の粘土をらせん状にして塔をつくり高さを競った ・丸めた新聞紙の上に、薄くのばした粘土を重ね、鬼や動物など好きな形のお面をつくった
成 果	・先生の話が分かりやすく丁寧だったので、初めてのことに不安が強かったり、失敗を嫌がる子どもが多いにも関わらず、楽しんで活動に取り組むことができた ・講師からの「自由でいいよ」という声掛けで、子どもたちは自分の作品を認めてもらえるという安心感をもって最後まで完成させることができ、達成感を得ることができた		

【デザイン】

1	矢掛町立 三谷小学校	目 標	外部の講師に来ていただき、興味・関心のある内容について教えてもらい、知識を広げ、技能を高める。主体的に活動に取り組めるようにする。
		講 師	山下 リール
		対象者	4～6年生6名
		日 時	①令和6年1月18日（木）14：45～15：30 ②令和6年2月15日（木）14：45～15：30
		内 容	お気に入りの本のブックカバー作成。
成 果	自分達で考えて、オリジナルのブックカバーのデザインをすることができた。それぞれが思いをもってデザインをしていた。		

【演劇】

1	倉敷市立 二万小学校	目 標	本校の児童は、人前で表現することへの抵抗感や苦手意識がある。今年度の学芸会では、3・4年での劇、5・6年での劇の発表を予定していることもあり、講座をうけることで、演じる楽しさや自分を表現する喜びを感じるとともに、学芸会への意欲付けを図ることをねらいとしている。
		講 師	難波 りか
		対象者	3～6年生43名
		日 時	①令和5年11月13日（月）10：40～11：40 ②令和5年11月27日（月）10：40～11：40 ③令和6年1月16日（火）11：00～12：00 ④令和6年1月22日（月）14：00～15：00
		内 容	11月に、3・4年と5・6年でそれぞれ、演劇のワークショップを実施。学芸会の練習が本格的に始まった1月からは、5・6年への演技指導をお願いした。場面ごとに講師に演技を見ていただき、その後に指導と助言をしてもらう形で行った。
成 果	ワークショップ後に子どもたちの発声が良くなり、大きな声が出せるようになった。又、学芸会の練習を見てもらえた5・6年の児童は、自らせりふの言い方や動きを工夫するようになり、児童から「いろいろなアイデアをもらえたのがよかった」「今の良かったよ!とすごく褒めてもらえてうれしかった」という声が出た。本番は楽しんでいきいきと演技ができた。		

【現代詩】

1	岡山市立 蛭明小学校	目 標	自分の思い・考えを言葉で表現することに苦手意識を持っている児童が多い為、表現力の向上を図る一環として詩の授業を行い、自分の思いを表現することの楽しさや開放感を味わわせることを目的とする。
		講 師	中尾 一郎
		対象者	1・2・4年生35名
		日 時	①令和5年9月4日（月）9：45～11：35 ②令和5年9月7日（木）9：45～11：35
		内 容	草野心平「春のうた」や他校の同じ学年の児童が書いた詩を読み、多様な表現方法とそのおもしろさを味わい、五感をはたかせながら詩を作成。そして、作成した詩を共有し、友だちの書いた詩の良さを見つけ、自分の詩をなおしたりつけたしたりする創作活動を行った。
成 果	・「詩」と「作文」のちがいを、詩の作成を通して学ぶことができた ・自分が思ったことや考えたことを、さまざまな文章表現で工夫して書き表すことができた ・コンクール出品に向けて、集中して作品づくりに取り組み完成させることで、書くことに対する苦手意識が少しうすらいだように感じた ・友だちの作品を読み、共感する姿がみられた		

【作文】

番号	学校名	講座詳細	
1	井原市立 井原中学校	目 標	作文を書くことが苦手な生徒たちに、作文の書き方を指導していただく。
		講 師	北川 久美子
		対象者	3年生137名
		日 時	令和5年7月10日（月）9：55～11：45、13：40～15：30
		内 容	作文の書き方について指導いただき、作文は書けるところから書き、後で並びかえ、くっつけていくなど生徒にとって分かりやすい型を教えていただいた。
成 果	・50分の授業の中で原稿用紙に1～2枚、下書きを書くことができた生徒が多かった ・苦手としている作文の書き方を教えていただき「なんとか書いてみよう」とやる気を出した生徒が多く見られた		

【話し方】

1	岡山県立 西備支援学校	目 標	特別支援学校知的障害部門高等部「職業」の授業として「マナー講座」を実施。校内・現場実習や卒業後の職業生活に生かすための基本的なマナーなどについて学習するため。
		講 師	中村 恵美
		対象者	知的障害部門高等部全学年38名
		日 時	①令和5年9月4日（月）13：00～14：00 ②令和5年9月15日（金）10：30～11：30、13：00～14：00
		内 容	・職業生活を過ごす上での土台となる「あいさつ」「話し方」「コミュニケーションの取り方」について、ロールプレイなどを交えながら学習 ・ハキハキと話すための発声練習や、お辞儀の練習
成 果	学習後、学校生活での友だちや教師とのやり取りの中で、学んだことを意識しながら取り組む姿が見られた。		

番号	学校名	講座詳細	
2	岡山市立 光南台中学校	目 標	職場体験学習の前に、正しい言葉遣いはもちろんのこと、相手の気持ちを考えて発言する力を少しでも身に付けさせる。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2年生27名
		日 時	令和5年10月11日（水）13：40～14：30
		内 容	・あいさつやお辞儀の意義やその行い方を実習 ・電話のかけ方、事業所を訪問したときの言葉遣い、接客の仕方の実習と服装や頭髮での注意点
成 果	・あいさつの声が大きくなり、笑顔でできるようになった ・職場体験学習に向けて、言葉遣いはもちろんのこと、服装などにも気を配れるようになった		
3	岡山市立 藤田中学校	目 標	職場体験に向けたマナー講座と職場体験活動中の話し方の伝達。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2年生120名
		日 時	令和5年10月12日（木）13：40～15：00
		内 容	・職場体験に向けてのあいさつ・お辞儀の練習 ・コミュニケーションスキルを高めるために大切なことの伝達 ・職場体験先で心がけることの伝達
成 果	生徒が自らあいさつをするようになり、意識して敬語を使うようになった。		
4	井原市立 県主小学校	目 標	発表や挨拶の際に大切な発声の仕方やアナウンサーとしての職業観や人生観を受けて、これからの生活や将来の自分に活かそうとする態度を養う。
		講 師	中村 恵美
		対象者	5・6年生14名
		日 時	①令和5年9月20日（水）13：20～15：00 ②令和6年2月19日（月）10：40～12：20
		内 容	①中村アナウンサーから学ぶ、声の出し方、インタビューの仕方など。大切にしている生き方考え方など ②1年間の取り組みのまとめを中村アナウンサーに伝える（発表の際のポイントや注意することを学ぶ）
成 果	①の実施後、児童は「笑顔」であいさつすることの大切さを学び、朝の会で毎朝継続して「笑顔」でのあいさつを続けている ②では、中村アナウンサーからたくさん褒めてもらえ、自分の発表に自信をつけることができた。多くの児童が学びを吸収する様子が見られた		
5	真庭市立 蒜山中学校	目 標	2年生は職場体験学習に向けて、3年生は面接試験に向けて基本的な礼儀作法を学ぶ。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2・3年生87名
		日 時	令和5年9月25日（月）13：50～15：40
		内 容	2年生は、自分の印象をよくするためのあいさつやお辞儀の仕方、コミュニケーションスキルを高める方法などを具体的に学んだ。そして3年生は、人前で話すときの心構えなど面接で自分らしさを伝える方法を学んだ。
成 果	場体験や面接試験に役立つ実践的な礼儀作法を学ぶことができ、その礼儀作法が将来社会に出たときも大切だと教えていただき、「学んだことを今後活かしたい」と多くの生徒が感想を述べていた。		

【対話型鑑賞法】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山県立 総社南高等学校	目 標	美術工芸系の生徒たちは日頃作品制作をすることは多いが、鑑賞に時間を費やすことがあまりない。他の人と対話しながら作品を鑑賞し、深めていく経験を通して絵を鑑賞する喜びや楽しさを味わうとともに、自分一人では気が付かないもの見方や感じ方を知り、自分の考えを言葉にして表現する力を育てる。
		講 師	片山 眞理、磯田 敏子、金万 純子、板東 美都子、藤井 和子、武本 賢治
		対象者	全学年63名
		日 時	令和5年10月18日（水）14：00～15：00
		内 容	10名程度のグループを6つ作り、1回約20分かけて2枚の絵画を鑑賞（1つのグループには全学年の生徒が混ざるように構成）。グループでの鑑賞活動の後、ふり返りを行い代表の生徒数名が発表。対話型鑑賞活動の前に講師による講演を聴講し、その後まとめのレクチャーをおこなっていただき、全体でセットのような構成で行った。
成 果	事後アンケートでは、ほとんどの生徒が対話型鑑賞を「とてもおもしろかった」「おもしろかった」と回答。約9割の生徒が、「対話型鑑賞法を通して自分のアート作品への見方に変化が起きた」と回答した（昨年度よりこの数字が下がったのは、昨年度経験した生徒が半数以上いたからであろうと推測される）。		
2	倉敷市立 乙島小学校	目 標	講師の導きを通して、児童に対話型鑑賞の楽しさを味わわせ、教師も対話型鑑賞の方法を学びこれからの指導に活かすことができるようにする。
		講 師	片山 眞理、磯田 敏子、藤井 和子
		対象者	3年生56名
		日 時	令和5年10月23日（月）9：00～11：55
		内 容	「アートカード」で気になる1枚を選び、クラス全員で岡本太郎作「躍進」を鑑賞。続いて、グループに分かれての対話型鑑賞を体験。
成 果	児童は対話による鑑賞を通して絵を見る楽しさや友だちと見比べて話し合う良さを感じることができた。指導者としても対話型鑑賞法のすばらしさを見せていただいたり、進め方を教えていただき、これから活かしていくための学びが大きかった。		

番号	学校名	講座詳細	
3	勝央美術文学館	目 標	・来場者が、より深い作品体験をできるギミックづくり ・「アートは今 岡山『旅』」の出品作品は、現代アートの中でも比較的分かりやすい作品が多く、ともすれば通り一遍の鑑賞に陥りやすい。そこで、アートナビ岡山の皆さんのナビゲーションで、多くの視点をもった人たちがいるんなおしゃべりすることで、学芸員さえ見過ごしている別の解釈や、作者さえ気付いていないような意味性を見つけ出し作品体験の可能性を広げてもらう
		講 師	片山 眞理、板東 美都子、森 弥生、山田 真理子
		対象者	17名（うち子ども1名）
		日 時	令和5年11月12日（日）13：30～14：30
		内 容	「アートは今 岡山『旅』」来場者へ、より深い鑑賞体験を提供し参加者が、アートをより「身近に」「好き」になる。
		成 果	参加者の感想を、テキスト化して作品鑑賞の際の参考にしていただくことはできなかったが、お互いに違う感想を話し合っ、鑑賞を深め、学芸員が意図してなかったような感想や鑑賞法があることを改めて知ることができたのはとても新鮮な驚きであった。
4	倉敷芸術科学大学	目 標	学生が対話型鑑賞のファシリテーターに関する実地研修を行う。
		講 師	片山 眞理
		対象者	3年生6名
		日 時	令和5年11月25日（土）15：30～16：30
		内 容	倉敷市立美術館にて開催された「絵は奏で、物語る—はるかなる時空の旅人たち—」展において、一般社団法人みるを楽しむアートナビ岡山所属講師がファシリテーターをつとめる実際の対話型鑑賞イベントに参加し、対話型鑑賞について深く学ぶ。
		成 果	留学生を含む6名の学生は、美術館でのイベントを通じ、対話型鑑賞実施における活動を体験し、美術館での双方向型の作品鑑賞のあり方について、理解を深めることができた。
5	華鶴大塚美術館	目 標	①博物館学芸員資格を目指す学生に、当館が教育普及事業として取り組む対話型鑑賞法について、みるナビの設立経緯や活動に触れ、様々な人たちとの協働について学び、実践する ②「アートは今岡山2023-2024旅展」開催にあわせ、出品作家との作品の魅力・見方を深めるため実施する
		講 師	片山 眞里、板東 美都子、山田 真理子、磯田 敏子
		対象者	41名（大学生31名、子供・一般10名）
		日 時	①令和5年12月14日（木）10：50～12：20 ②令和6年2月4日（日）13：30～14：30
		内 容	①・対話型鑑賞とみるナビについて説明 ・所蔵作品でアートゲーム ・鑑賞（2作品） ・振り返り ②・画帖でアートゲーム ・鑑賞（3作品）
		成 果	①・博物館に求められる外部との交流、連携についての理解 ・対話型鑑賞法から知る多角的な視点や多様な価値観 ②・現代美術に対する関心と鑑賞の楽しさ ・対話型鑑賞法への関心

学校出前講座講師所感

栗坂 祐子 (伝統文化部門／箏曲)

ここ数年、箏曲の出前講座で授業をさせていただいています。お箏ならではの音色の美しさを直に感じたり、実際に楽器に触れたりする機会を少しでも子どもたちに提供できたらと考えて活動しています。

授業の中では、柱(じ)を移動させることで調絃できることを知り、クイズを楽しみながらお箏という楽器について学びました。続いて、爪をはめて代表曲の「さくら さくら」を弾いてみました。座り方、姿勢、爪のあて方などに気をつけて、最後には簡単な合奏もすることができました。子どもたちからは、「最初は難しかったけど、だんだん弾けるようになってきた」「お箏を弾くのは楽しいなあ」などの声が聞かれました。今後は、「もっと弾きたい」という子どもたちの思いが実現できる工夫が必要だと感じています。



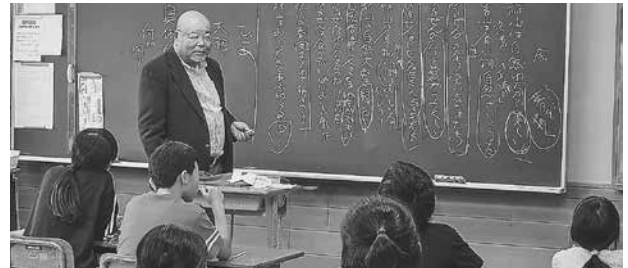
北川 拓治 (伝統文化部門／川柳)

6月8日の朝、我が家を7時に出発。少し眠い目を擦りながらの運転、1時間半余りで目的地の真庭市・川上小学校に到着。蒜山三座が目に見える絶好のロケーションにあり、きれいな学校に脱帽。

それから約2時間、半世紀余り培った私の川柳をどれだけ聞いていただけるかが正念場。児童たちの好奇心に何をぶつけ、反応を待つかが大きな課題でしたが、そんな不安はいっぺんに解決しました。素直な感性と観光地であるがゆえに、人との会話に慣れている様子で、次々と作句してくれます。素直な句、純粋な句、子どもらしい句に、嬉しい悲鳴であり、私自身も大きな収穫がありました。

さすがに高学年になると、自分の思いや感情が入り、川柳らしい作品や社会に対する批判的な句も多くあったことは、学校教育の底辺の広がり、教育の広がりを痛感しました。

貴重な時間をいただき、私自身もいい勉強になりました。これを通して、少しでも川柳が身近なものになればと思っています。



土師 由美子 (一般文化芸術部門／吹奏楽)

管楽器は1人でも楽しく演奏できますし、楽器を持ち寄って仲間と一緒に合奏をすることで、音楽やコミュニケーションを楽しみながら集中力や状況判断力、自発的な行動力など、学校や世の中で必要なスキルを自然に身につけていくことのできる素晴らしい楽器です。

限られた時間の中で一生懸命練習に取り組まれている生徒さんが、自らの力でステップアップしていくことの楽しさに気付くきっかけになればいいなという思いを強く持って毎回訪問をさせていただいています。

わかった！できた！の笑顔の瞬間に立ち会えるこの貴重な機会をいつも大切に、そして幅広い年代の方が管楽器の魅力に出合う橋渡しとなれるように、コツコツと頑張って行きたいと思います。



横山 千秋 (一般文化芸術部門／映像)

今回の出前授業では、まず子どもたちに映像で表現したいテーマを決めて構成を考えてもらいました。そして普段の授業でも活用しているタブレット端末を使ってそれぞれ撮影。その素材を私が受け取って簡単に編集しました。

「ユーチューバーもテレビ番組を作る人も、実は事前に何を伝えたいかを整理して、いろいろ調べたり、下見に行ったり、準備をしてから撮影しているんだよ」

今回伝えたかったポイントです。

できた映像をみんなで鑑賞すると、カットとカットが繋がってストーリーが立ち上がっていくことに、歓声があがったり笑いが起きたりしました。

子どもたちと対話することで、日頃いかに暗黙知や経験知、身内だけに伝わる言語に頼って仕事をしているのかを思い知りました。私にとっても自身の仕事を見つめ直す良い機会となりました。



編集・発行



公益社団法人

岡山県文化連盟

〒700-0814 岡山市北区天神町8-54
岡山県天神山文化プラザ内
TEL.086-234-2626 FAX.086-234-8300
URL <https://o-bunren.jp>